

2025 年度

シ ラ バ ス

〔授業計画書〕

第 2 学年

松本歯科大学衛生学院

歯科衛生士学科

<目 次>

建学の理念	1
校 歌	2
教育目標 等	3
履修基準表	4
年間予定表	5
時間割表	7

衛生行政・社会福祉	【後】	9
保存修復学	【前】	10
歯内療法学	【前】	12
歯周療法学	【前】	13
歯科補綴学	【前】	15
口腔外科学	【前】	16
小児歯科学	【前】	17
歯科矯正学	【前】	19
歯科放射線学	【前】	21
歯科麻酔学	【前】	22
障害者歯科学・高齢者歯科学	【前】	23
摂食・嚥下学	【前】	25
歯科予防処置論Ⅱ	【前】	25
歯科予防処置論Ⅲ	【後】	28
歯科保健指導論Ⅱ	【前】	30
歯科保健指導論Ⅲ	【後】	33
歯科診療補助論Ⅱ	【前】	34
歯科診療補助論Ⅲ	【後】	37
臨地実習Ⅰ	【後】	39
医療事務（歯科）	【後】	49
歯科英語	【前】	51
医療中国語	【前】	53

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者

矢崎 康

松本歯科大学校歌
あゝ渺々の蒼穹に

作詞 矢ヶ崎 康
作曲 山本 直純

Tempo di Marcia



一、あゝ渺々の蒼穹に
いまぞ明け行く 信濃の朝
白雪吼ゆる 気高き霊峯に
理性の耳を 澄まし聞け
夜明けの歌と 国手の歌を
自由の響き いや歓喜あり
いざや探らん 世界のありかを
いざや究めん 無限の法則を

二、あゝ深奥の溪谷に
いまぞ開けん 草野の香り
奈良井の川の いざよう岸に
理性の窓を 開き見よ
砕け迷蒙 さやけき思考
自由の守り わが城にあり
いざや探らん 世界のありかを
いざや究めん 無限の法則を

三、あゝ妍麗の紅添えて
いまぞ染め行く 桔梗ヶ原の夕べ
深空に映ゆる 三色の星に
理性の胸を 静め聞け
歩みの音と 進化の音を
自由の栄光 いや輝けり
いざや探らん 世界のありかを
いざや究めん 無限の法則を

松本歯科大学衛生学院

◇設置目的（松本歯科大学衛生学院学則 第1条）

松本歯科大学衛生学院は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。

◇教育目標

本学院は、温かく豊かな人間性と幅広い教養を備え、口腔保健の専門的知識と技術を持って広く人々の健康と幸福に貢献するとともに、地域や国際社会の保健・医療・福祉・健康の課題に柔軟に対応できる感性豊かで創造力をもった総合的な口腔保健の専門医療人を養成することを目指すものである。

◇ディプロマポリシー（卒業認定に関する方針）

1. 歯科衛生士として豊かな人間性と専門性を身につけ、社会に貢献できる
2. 歯科衛生士に必要な専門知識と技術を備え、口腔の健康を支援することができる
3. 歯科衛生士としてのコミュニケーション能力を有し、多職種との協働ができる
4. 歯科医療の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、自ら問題解決できる探求心を備えている

◇アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

1. 歯科衛生士として人々の健康と幸福に寄与したいという目的意識をもっていること
2. 医療人にふさわしい温かい人間性を備えていること
3. 豊かな感性と学問への情熱を有していること
4. 専門家としての知識と技術を学ぶために必要な基礎力を身につけていること

《2024年度入学生》教育内容、授業内容、授業科目及び単位数等(履修基準表)

分野	教育内容	授業科目	授業	履修	単位数	時間数	履修年次及び授業時間数		
			形態	区分			1年	2年	3年
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活	口腔生命科学入門Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		口腔生命科学入門Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
		医療コミュニケーション	演習	必修	2	30	30		
		言語表現	講義	必修	2	30	30		
		身体と健康	実技	必修	2	60	60		
小 計					10	180	180	0	0
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		人体の構造と機能Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
	歯・口腔の構造と機能	歯・口腔の構造と機能Ⅰ	講義	必修	4	60	60		
		歯・口腔の構造と機能Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病理学・口腔病理学	講義	必修	2	30	30		
		薬理学・歯科薬理学	講義	必修	2	30	30		
		微生物学・口腔微生物学	講義	必修	2	30	30		
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		口腔衛生学Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
		衛生学・公衆衛生学	講義	必修	2	30	30		
衛生行政・社会福祉		講義	必修	1	16		16		
小 計					23	346	330	16	0
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	講義	必修	2	30	30		
	臨床歯科医学	保存修復学	講義	必修	1	18		18	
		歯内療法学	講義	必修	1	18		18	
		歯周療法学	講義	必修	1	18		18	
		歯科補綴学	講義	必修	1	18		18	
		口腔外科学	講義	必修	1	18		18	
		小児歯科学	講義	必修	1	18		18	
		歯科矯正学	講義	必修	1	18		18	
		歯科放射線学	講義	必修	0.5	10		10	
		歯科麻酔学	講義	必修	0.5	8		8	
		障害者歯科学・高齢者歯科学	講義	必修	1	18		18	
		摂食・嚥下学	演習	必修	1	18		18	
	歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	実習	必修	4	120	120		
		歯科予防処置論Ⅱ	演習	必修	2	48		48	
		歯科予防処置論Ⅲ	演習	必修	1	24		24	
		歯科予防処置論Ⅳ	演習	必修	1	24			24
	歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	演習	必修	2	60	60		
		歯科保健指導論Ⅱ	演習	必修	2	48		48	
		歯科保健指導論Ⅲ	演習	必修	1	24		24	
		歯科保健指導論Ⅳ	演習	必修	1	24			24
		歯科保健指導論Ⅴ	演習	必修	1	24			24
		栄養学・栄養指導法	講義	必修	2	30	30		
	歯科診療補助論	歯科診療補助論Ⅰ	実習	必修	4	120	120		
		歯科診療補助論Ⅱ	演習	必修	2	48		48	
		歯科診療補助論Ⅲ	演習	必修	1	24		24	
		歯科診療補助論Ⅳ	演習	必修	1	24			24
		歯科診療補助論Ⅴ	演習	必修	1	24			24
	臨地実習(臨床実習を含む)	臨地実習Ⅰ	実習	必修	10	450		450	
		臨地実習Ⅱ	実習	必修	10	450			450
	歯科衛生士特論	歯科衛生士特論	講義	必修	8	240			240
小 計					66	2016	360	846	810
選択必修分野	医療事務(歯科)	講義	必修	4	70		70		
	歯科英語	講義	必修	2	30		30		
	医療中国語	講義	必修	2	30		30		
小 計					8	130	0	130	0
合 計					107	2672	870	992	810

2025 年度 年間予定表（前期）

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	火		1	木	2・3年:特別休業	1	日		1	火		1	金	1・2・3年:夏季休業	1	月	2年:前期追・再試験、補習
2	水		2	金	1・2・3年:特別休業	2	月		2	水		2	土		2	火	2年:前期追・再試験、補習
3	木		3	土	憲法記念日	3	火		3	木		3	日		3	水	1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験、補習
4	金		4	日	みどりの日	4	水		4	金		4	月	1・2・3年:夏季休業	4	木	1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験、補習
5	土		5	月	こどもの日	5	木		5	土	★体験入学②	5	火	1・2・3年:夏季休業	5	金	1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験、補習
6	日		6	火	振替休日	6	金		6	日		6	水	1・2・3年:夏季休業	6	土	★体験入学④
7	月		7	水	3年:特別休業	7	土		7	月	・HBワクチン接種 (2回目)	7	木	1・2・3年:夏季休業	7	日	
8	火		8	木	3年:特別休業	8	日		8	火		8	金	1・2・3年:夏季休業	8	月	1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験、補習
9	水		9	金	3年:特別休業	9	月		9	水		9	土		9	火	1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験、補習
10	木	入学式	10	土		10	火		10	木		10	日		10	水	1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験、補習
11	金	1・2・3年:オリエンテーション	11	日		11	水		11	金		11	月	山の日	11	木	1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験、補習
12	土		12	月		12	木		12	土		12	火	1・2・3年:夏季休業	12	金	1年:前期定期試験 2年:前期追・再試験、補習
13	日		13	火		13	金		13	日		13	水	1・2・3年:夏季休業	13	土	
14	月	1年:オリエンテーション 2年:授業開始 3年:臨地実習Ⅱオリエンテーション	14	水	1年:HBs抗原・抗体検査 (採血)	14	土	★体験入学①	14	月		14	木	1・2・3年:夏季休業	14	日	
15	火	1年:オリエンテーション	15	木		15	日		15	火	2年:前期定期試験Ⅱ	15	金	1・2・3年:夏季休業	15	月	敬老の日
16	水	1年:授業開始	16	金		16	月	2年:前期定期試験Ⅰ	16	水	2年:前期定期試験Ⅱ	16	土		16	火	1年:前期定期試験 2年:登院試験
17	木		17	土		17	火	2年:前期定期試験Ⅰ	17	木	2年:前期定期試験Ⅱ	17	日		17	水	1年:前期追・再試験 2年:登院試験
18	金		18	日		18	水	2年:前期定期試験Ⅰ	18	金	2年:前期定期試験Ⅱ	18	月	1・2・3年:夏季休業	18	木	1年:前期追・再試験 2年:登院試験
19	土		19	月		19	木		19	土		19	火	1・2・3年:夏季休業	19	金	1年:前期追・再試験 2年:登院試験
20	日		20	火		20	金		20	日		20	水	1・2・3年:夏季休業	20	土	
21	月		21	水		21	土		21	月	海の日	21	木	2・3年:夏季休業	21	日	
22	火		22	木		22	日		22	火	2年:前期定期試験Ⅱ 1・3年:夏季休業	22	金	2・3年:夏季休業	22	月	1年:前期追・再試験 2年:登院試験
23	水		23	金		23	月		23	水	2年:前期定期試験Ⅱ 1・3年:夏季休業	23	土		23	火	秋分の日
24	木		24	土		24	火		24	木	2年:前期定期試験Ⅱ 1・3年:夏季休業	24	日		24	水	1年:前期追・再試験 2年:登院試験
25	金		25	日		25	水		25	金	2年:前期定期試験Ⅱ 1・3年:夏季休業	25	月	2年:前期追・再試験、補習 3年:夏季休業	25	木	1年:前期追・再試験 2年:登院試験
26	土		26	月	・HBワクチン接種 (1回目)	26	木		26	土	★体験入学③	26	火	2年:前期追・再試験、補習 3年:夏季休業	26	金	1年:前期追・再試験 2年:登院試験
27	日		27	火		27	金		27	日		27	水	2年:前期追・再試験、補習 3年:夏季休業	27	土	
28	月		28	水		28	土		28	月	1・2・3年:夏季休業	28	木	2年:前期追・再試験、補習 3年:夏季休業	28	日	
29	火	昭和の日 松濤祭	29	木		29	日		29	火	1・2・3年:夏季休業	29	金	2年:前期追・再試験、補習 3年:夏季休業	29	月	2年:登院試験 3年:前期定期試験
30	水	1・2・3年 健康診断	30	金		30	月		30	水	1・2・3年:夏季休業	30	土		30	火	戴帽式
			31	土					31	木	1・2・3年:夏季休業	31	日				

2025 年度 年間予定表（後期）

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	水	2年:臨地実習オリエンテーション	1	土		1	月	・HBワクチン接種 (3回目)	1	木	元旦 1・2・3年:冬季休業	1	日		1	日	国家試験(予定)
2	木	2年:臨地実習オリエンテーション	2	日		2	火		2	金	1・2・3年:冬季休業	2	月		2	月	1年:後期追・再試験・補習 2年:後期定期試験
3	金	2年:臨地実習オリエンテーション	3	月	文化の日	3	水		3	土	1・2・3年:冬季休業	3	火		3	火	卒業証書授与式(予定)
4	土		4	火		4	木		4	日	1・2・3年:冬季休業	4	水		4	水	1年:後期追・再試験・補習 2年:後期定期試験
5	日		5	水		5	金		5	月	1・2・3年:冬季休業	5	木		5	木	1年:後期追・再試験・補習 2年:後期追・再試験
6	月	2年:臨地実習オリエンテーション	6	木		6	土		6	火	1・2年:冬季休業 3年:後期定期試験Ⅱ	6	金	1年:特別休業	6	金	1年:後期追・再試験・補習 2年:後期追・再試験
7	火	2年:臨地実習オリエンテーション	7	金	1年:月曜授業	7	日		7	水	1・2年:冬季休業 3年:後期定期試験Ⅱ	7	土		7	土	
8	水	2年:臨地実習オリエンテーション	8	土		8	月		8	木	3年:後期定期試験Ⅱ	8	日		8	日	
9	木	2年:臨地実習オリエンテーション	9	日		9	火		9	金	・HBs抗体検査(採血)	9	月	1年:後期定期試験	9	月	1年:補習 2年:後期追・再試験
10	金		10	月		10	水		10	土		10	火	1年:後期定期試験	10	火	1年:補習 2年:後期追・再試験
11	土		11	火		11	木		11	日		11	水	建国記念の日	11	水	
12	日		12	水		12	金		12	月	成人の日	12	木	1年:後期定期試験	12	木	
13	月	スポーツの日	13	木		13	土		13	火		13	金	1年:後期定期試験	13	金	
14	火		14	金		14	日		14	水	ファウンダーズデイ	14	土		14	土	
15	水		15	土		15	月	3年:後期定期試験Ⅰ	15	木		15	日		15	日	
16	木		16	日		16	火	3年:後期定期試験Ⅰ	16	金		16	月	1年:後期定期試験	16	月	
17	金		17	月		17	水		17	土		17	火	1年:後期定期試験	17	火	
18	土		18	火		18	木		18	日		18	水	1年:後期定期試験	18	水	
19	日		19	水		19	金		19	月	3年:後期追・再試験	19	木	1年:後期定期試験	19	木	
20	月		20	木		20	土		20	火	3年:後期追・再試験	20	金	1年:後期定期試験	20	金	春分の日
21	火		21	金		21	日		21	水	3年:後期追・再試験	21	土		21	土	
22	水		22	土		22	月	2・3年:冬季休業	22	木		22	日		22	日	
23	木		23	日	勤労感謝の日	23	火	1・2・3年:冬季休業	23	金		23	月	天皇誕生日	23	月	
24	金		24	月	振替休日	24	水	1・2・3年:冬季休業	24	土		24	火	1年:後期追・再試験・補習	24	火	
25	土		25	火		25	木	1・2・3年:冬季休業	25	日		25	水	1年:後期追・再試験・補習	25	水	
26	日		26	水		26	金	1・2・3年:冬季休業	26	月		26	木	1年:後期追・再試験・補習	26	木	
27	月		27	木	1年:月曜授業	27	土		27	火		27	金	1年:後期追・再試験・補習	27	金	
28	火		28	金		28	日		28	水		28	土		28	土	
29	水		29	土		29	月	1・2・3年:冬季休業	29	木	創立記念日				29	日	
30	木		30	日		30	火	1・2・3年:冬季休業	30	金					30	月	
31	金					31	水	1・2・3年:冬季休業	31	土					31	火	

2025年度 第2学年 [Aクラス] 時間割

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月				
		7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	
月	1	①歯内	①歯保	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	4	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	1	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	2	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛
	3	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	①歯衛	①歯科	①歯生	

2025年度 第2学年 [Bクラス] 時間割

[illegible]

科 目 名			担当教員		
衛生行政・社会福祉			定岡直		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	2	16	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科衛生士として、国民の健康増進と適切な歯科医療を提供するために必要な衛生行政、社会保障および社会福祉に関わる組織、法律について理解する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ 『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉の制度』（医歯薬出版）			
成績評価		筆記試験、授業態度等の評価点により総合的に判定する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：定岡直			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士として、国民の健康増進と適切な歯科医療を提供するために必要な衛生行政、社会保障および社会福祉に関わる組織、法律について理解させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/14・4 限	医療制度	法制概論、医療法	法の種類と意義について説明できる。	定岡
	B 4/14・1 限				定岡
2	A 4/21・4 限	歯科医療従事者関 連法規	歯 科 医 師 法、歯 科 衛 生 士 法、歯科技工士法	歯科医療従事者の役割について説明できる。	定岡
	B 4/21・1 限				定岡
3	A 4/28・4 限	他職種関連法規	医療連携を行う他職種、医師 法、保健師助産師看護師 法、薬剤師法	チーム医療、医師法・薬剤師法等医療連携をする他職種関 連法規について説明できる。	定岡
	B 4/28・1 限				定岡
4	A 5/14・4 限	地域歯科保健関連 法規	地域包括ケアシステム・地域 保健法等関連法規・歯科口 腔保健の推進に関する法律・ 薬事関連法規	地域歯科保健・薬事に関連する法規について説明できる。	定岡
	B 5/14・1 限				定岡
5	A 5/21・4 限	社会保障 1	生存権、社会保険・医療保険 制度	社会保障の目標や機能、医療保険制度、審査支払機関につ いて説明できる。	定岡
	B 5/21・3 限				定岡
6	A 5/28・4 限	社会保障 2	介護保険制度	介護保険制度・地域包括支援センターと地域包括ケアシステ ムについて説明できる。	定岡
	B 5/28・1 限				定岡
7	A 6/2・4 限	社会保障 3 社会福祉	年金保険制度、労働保険、 生活保護法、児童福祉法・障 害者	年金保険制度、労災関連、児童福祉・児童虐待、自立支援医 療制度について説明できる。	定岡
	B 6/2・1 限				定岡
8	A 6/9・4 限	保健医療の動向 まとめ	受療状況と国民医療費の現 況について	国民医療費の現況について説明できる。	定岡
	B 6/9・1 限				定岡

科 目 名			担当教員		
保存修復学			中村圭吾、亀山敦史		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		歯の硬組織疾患に対する予防と治療について学ぶ。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修: 歯科衛生学シリーズ『保存修復学・歯内療法学』(医歯薬出版) 片山 直、小松正志、松尾敬志 編集: 新・歯科衛生士教育マニュアル『保存修復』(クインテッセンス出版)			
成績評価		出席、受講態度、試験			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師: 中村圭吾、亀山敦史			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、保存修復学の意義、手技等を理解させ、歯科医師と協力して適切でより良い医療を患者に提供できるように講義する。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/14・2 限	保存修復学総論①	保存修復学の概要、歯の硬組織疾患	1. 保存修復の目的を説明できる。(想起) 2. 保存修復における歯科衛生士の役割を説明できる。(想起) 3. 歯の硬組織疾患を分類し、それぞれを説明できる。(想起) 4. う蝕の病因と病態を説明できる。(想起) 5. う蝕のリスクファクターを列挙できる。(想起) 6. エナメル質う蝕と根面う蝕の特徴と治療法を説明できる。(想起)	中村 亀山
	B 4/14・3 限				中村 亀山
2	A 4/21・2 限	保存修復学総論②	非う蝕性硬組織疾患、口腔検査法、検査用器具と手技	1. 非う蝕性の硬組織疾患を分類し、それぞれを説明できる。(想起) 2. 非う蝕性硬組織疾患の病因と病態を説明できる。(想起) 3. 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。(想起) 4. 各種検査法の特徴と適応を説明できる。(想起) 5. 歯式の表現法を列挙し説明できる。(想起)	中村 亀山
	B 4/21・3 限				中村 亀山
3	A 4/28・2 限	保存修復学総論③	歯の切削、窩洞	1. 歯の切削とう蝕除去に必要な器材を列挙し、用途と使用方法を説明できる。(想起) 2. 窩洞を分類し、説明できる。(想起) 3. 窩洞の各部位の名称を説明できる。(想起) 4. 窩洞形態に関する一般原則を列挙できる。(想起)	中村 亀山
	B 4/28・3 限				中村 亀山
4	A 5/12・2 限	保存修復学総論④	修復の前準備、象牙質・歯髄の保護	1. 修復の前準備を列挙し、概要を説明できる。(想起) 2. 術野隔離法の手順と機材材料の使用法を説明できる。(想起) 3. 歯肉排除法に使用する機材材料を列挙し、使用方法を説明できる。(想起) 4. 歯間分離法に使用する機材材料を列挙し、使用方法を説明できる。(想起) 5. 隔壁法に使用する機材材料を列挙し、使用方法を説明できる。(想起) 6. 象牙質・歯髄複合体の保護法を列挙し、説明できる。(想起)	中村 亀山
	B 5/12・3 限				中村 亀山
5	A 5/19・2 限	保存修復学各論①	ミニマル・インターベンション、コンポジットレジン修復①	1. ミニマル・インターベンションを説明できる。(想起) 2. コンポジットレジン修復の特徴を列挙し、説明できる。(想起) 3. コンポジットレジン修復の適応症と禁忌症を列挙できる。(想起) 4. コンポジットレジン修復の手順と器材材料の使用法を説明できる。(想起)	中村 亀山
	B 5/19・3 限				中村 亀山
6	A 5/26・2 限	保存修復学各論②	コンポジットレジン修復② グラスアイオノマーセメント修復	1. レジン接着システムについて説明できる。(想起) 2. 歯質との接着機構を説明できる。(想起) 3. グラスアイオノマー修復の特徴を列挙し、説明できる。(想起) 4. グラスアイオノマー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。(想起) 5. グラスアイオノマー修復の手順と器材材料の使用法を説明できる。(想起)	中村 亀山
	B 5/26・3 限				中村 亀山

7	A 6/2-2 限	保存修復学各論③	メタルインレー修復, 合着と仕上げ・研磨	1. メタルインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。(想起) 2. メタルインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。(想起) 3. メタルインレー修復の手順と器材材料の使用方を説明できる。(想起) 4. メタルインレーの製法を説明できる。(想起) 5. 合着・接着材料の種類を列挙できる。(想起) 6. 合着・接着材料の組成と特徴を説明できる。(想起) 7. 間接修復物の合着・接着の手順と注意点を説明できる。(想起) 8. 仕上げと研磨の意義と目的を説明できる(想起) 9. 仕上げ・研磨それぞれに用いる器具を列挙できる。(想起)	中村 亀山
	B 6/2-3 限				中村 亀山
8	A 6/9-2 限	保存修復学各論④	セラミックインレー修復, コンポジットレジンインレー修復	1. セラミックインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。(想起) 2. セラミックインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。(想起) 3. セラミックインレー修復の手順と器材材料の使用方を説明できる。(想起) 4. セラミックインレーの製法とそれぞれの特徴を説明できる。(想起) 5. コンポジットレジンインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。(想起) 6. コンポジットレジンインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。(想起) 7. コンポジットレジンインレー修復の手順と器材材料の使用方を説明できる。(想起) 8. コンポジットレジンインレーの製法を説明できる。(想起)	中村 亀山
	B 6/9-3 限				中村 亀山
9	A 6/23-2 限	まとめ	保存修復学のまとめ	1. 保存修復における歯科衛生士の役割を説明できる。(想起) 2. 歯の硬組織疾患の種類とそれぞれの特徴を説明できる。(想起) 3. 歯の硬組織疾患の検査法について説明できる。(想起) 4. 修復の前準備の種類とそれぞれの特徴を説明できる。(想起) 5. う蝕治療の流れについて説明できる。(想起) 6. 歯の切削に使用する器材材料について説明できる。(想起) 7. 窩洞の名称と分類について説明できる。(想起) 8. ミニマル・インターベンションについて説明できる。(想起) 9. 修復法の種類とそれぞれの特徴を説明できる。(想起) 10. 修復処置に使用する器材材料について説明できる。(想起)	中村 亀山
	B 6/23-3 限				中村 亀山

科 目 名			担当教員		
歯内療法学			岩崎拓也、増田宜子、森川雅己、河村裕太、佐々木惣平		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		歯髄および根尖歯周組織などの疾患に対する予防と治療について学ぶ。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『保存修復学・歯内療法学』（医歯薬出版）			
成績評価		出席、受講態度、試験			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：岩崎拓也、増田宜子、森川雅己、河村裕太、佐々木惣平			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯内療法学の意義、手技等を理解させ、歯科医師と協力して適切でより良い医療を患者に提供できるように講義する。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/14-1 限	歯内療法学総論 ①	歯内療法学の概要、象牙質知覚過敏症、歯髄疾患	1. 歯内療法 of の目的について説明できる。 2. 象牙質過敏症の原因、症状、治療法について説明できる。 3. 歯髄疾患の種類、特徴、診査法、治療法、病理、臨床症状について説明できる。	岩崎 河村
	B 4/14-2 限				岩崎 佐々木
2	A 4/21-1 限	歯内療法学総論 ②	根尖性歯周炎	1. 根尖性歯周炎の種類、特徴、診査法、治療法、病理、臨床症状について説明できる。	岩崎 河村
	B 4/21-2 限				岩崎 佐々木
3	A 4/28-1 限	歯内療法学各論 ①	歯内治療における検査法、歯髄保存療法	1. 歯内治療における検査法の種類、特徴について説明できる。 2. 歯髄保存療法の種類、特徴について説明できる。	岩崎 河村
	B 4/28-2 限				岩崎 佐々木
4	A 5/12-1 限	歯内療法学各論 ②	歯髄除去療法、根管治療	1. 歯髄除去療法の種類、特徴について説明できる。 2. 根管治療の術式について説明できる。	岩崎 河村
	B 5/12-2 限				岩崎 佐々木
5	A 5/19-1 限	歯内療法学各論 ③	根管充填の時期の判定、根管充填の術式と種類	1. 根管充填の時期の判定について説明できる。 2. 根管充填の術式、種類、処置について説明できる。	岩崎 河村
	B 5/19-2 限				岩崎 佐々木
6	A 5/26-1 限	歯内療法学各論 ④	歯の外傷の処置、根未完成歯の処置	1. 歯の外傷の処置について説明できる。 2. 根未完成歯の処置について説明できる。	岩崎 河村
	B 5/26-2 限				岩崎 佐々木
7	A 6/2-1 限	歯内療法学各論 ⑤	外科的歯内療法	1. 外科的歯内療法の目的、適応症と術式を説明できる。 2. 歯科用実体顕微鏡の特徴について説明できる。	森川 増田
	B 6/2-2 限				森川 増田
8	A 6/9-1 限	歯内療法学各論 ⑥	歯内療法における安全対策	1. 偶発事故の種類と処置について説明できる。	岩崎 河村
	B 6/9-2 限				岩崎 佐々木
9	A 6/23-1 限	まとめ	まとめ	まとめ	岩崎 河村
	B 6/23-2 限				岩崎 佐々木

科 目 名			担当教員		
歯周療法学			石岡康明		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		我が国では超高齢社会に入り、8020 運動の達成者の割合は 50%をこえているが、歯を失う原因疾患のトップはいまだ歯周病であり、成人の多くが罹患している。「歯周療法学」では歯周疾患の概要や歯科衛生業務を行うために必要な知識の習得を目的とする。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『歯周病学』（医歯薬出版）			
成績評価		授業出席回数、聴講態度、筆記試験の成績から総合的に評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：石岡康明			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯周疾患の概要や歯科衛生業務を行うために必要な基礎的理論について講義する。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/16-3 限	歯周疾患と歯周療法学	1. 歯周疾患と歯周療法学 2. 歯周組織の構造と口腔内所見 3. 歯周疾患の機序と症状	1. 歯周疾患の特徴について説明できる。 2. 歯周組織の構造と歯周疾患の口腔内所見を説明できる。	石岡
	B 4/16-4 限			3. 歯周病の機序と症状について説明できる。	石岡
2	A 4/23-3 限	歯周疾患の病因	1. 他因子疾患としての歯周病 2. 細菌因子 3. 宿主因子 4. 環境因子	1. 歯周病の病因を列挙し、他因子疾患としての歯周病について説明できる。 2. デンタルプラークの性状と形成機序について説明できる。	石岡
	B 4/23-4 限			3. 口腔バイオフィルムの成因、病原性について説明できる。 4. 歯周病に関連する細菌を列挙し、病原性について説明できる。 5. ディスバイオーシスと歯周病発症の関連について説明できる。 6. 歯周疾患の細菌因子について説明できる。 7. 歯周疾患の宿主因子について説明できる。 8. 歯周疾患の環境因子について説明できる。	石岡
3	A 5/14-3 限	歯周組織検査	1. 口腔内エックス線写真検査 2. 口腔内写真検査 3. エックス線写真検査による歯槽骨吸収と程度 4. 習癖の検査 5. プローピングデプス 6. 臨床的アタッチメントレベル 7. 根分岐部病変 8. 角化歯肉、付着歯肉 9. 歯肉炎症の程度(BOP、排膿) 10. 歯の動揺度の検査 11. 咬合の検査 12. 食片圧入 13. プラーク 14. 修復物、補綴物の適否 15. 歯周チャート 16. 歯槽骨吸収 17. 研究用模型	1. 口腔内エックス線写真検査について説明できる。 2. 口腔内写真検査について説明できる。 3. エックス線写真検査について説明できる。 4. 習癖の検査について説明できる。 5. プローピングデプスについて説明できる。 6. 臨床的アタッチメントレベルについて説明できる。 7. 根分岐部病変について説明できる。 8. 角化歯肉、付着歯肉について説明できる。 9. 歯肉炎症の程度(BOP、排膿)について説明できる。 10. 歯の動揺度の検査について説明できる。 11. 咬合の検査について説明できる。 12. 食片圧入について説明できる。 13. プラークについて説明できる。 14. 修復物、補綴物の適否について説明できる。 15. 歯周チャートについて説明できる。 16. 歯槽骨吸収について説明できる。 17. 研究用模型について説明できる。	石岡
	B 5/14-4 限				石岡
4	A 5/21-3 限	歯周疾患の分類と特徴	1. 日本歯周病学会分類(2006) 2. 歯周病の新分類(2018) 3. インプラント周囲疾患	1. 歯周疾患の分類について説明できる。 2. 歯周病の新分類について、説明できる。	石岡
	B 5/21-4 限			3. インプラント周囲疾患について説明できる。	石岡

5	A 5/28-3 限	歯周基本治療①	1. 歯周基本治療の意義と目的 2. 患者教育とモチベーション 3. プラークコントロール 4. プラークコントロールの目的, 意義 機械的, 化学的プラークコントロール 5. 各種ブラッシング法 6. 薬物療法 7. 局所薬物配送システム (LDDS) 8. Full mouth disinfection (FMD)	1. 歯周基本治療の内容を列挙できる。 2. 患者教育とモチベーション(動機付け)について説明できる。 3. プラークコントロールの方法について説明できる。 4. プラークコントロールの目的, 意義 機械的, 化学的プラークコントロールを説明できる。 5. 各種ブラッシング法について説明できる。 6. 局所薬物配送システム(LDDS)について説明できる。 7. Full mouth disinfection (FMD)について説明できる。	石岡
	B 5/28-4 限				石岡
6	A 6/4-3 限	歯周基本治療②	1. スケーリング・ルートプレーニングの意義と目的 2. スケーラーの種類 3. 手用スケーラー 4. 超音波・音波スケーラー 5. スケーリング・ルートプレーニングの方法 6. シャープニングの定義, 方法 7. 咬合調整 8. 暫間固定 9. 習癖の修正 10. 暫間補綴物の作製 11. 再評価検査の意義と目的	1. スケーリング・ルートプレーニングの意義と目的について説明できる。 2. スケーラーの種類について説明できる。 3. 手用スケーラーについて説明できる。 4. 手用スケーラーについて説明できる。 5. 超音波・音波スケーラーについて説明できる。 6. シャープニングの定義, 方法について説明できる。 7. 咬合調整について説明できる。 8. 暫間固定の方法を列挙できる。 9. 習癖による歯周組織への影響について説明できる。 10. 暫間補綴物の種類について列挙し, 説明できる。 11. 再評価検査について説明できる。	石岡
	B 6/4-4 限				石岡
7	A 6/11-3 限	歯周外科療法	1. 歯周外科治療の意義と目的 2. 歯周外科治療に用いる器材 3. 歯周外科治療後の治癒形態 4. 歯周外科治療 a 切除療法 b 組織付着療法 c 歯周組織再生療法 (FGF-2, EMD, 骨移植材) d 歯周形成手術 e 根分岐部病変の治療	1. 歯周外科治療の意義と目的を説明できる。 2. 歯周外科治療に用いる器材の名称と用途を説明できる。 3. 歯周外科治療における歯科衛生士の役割について説明できる。 4. 歯周外科治療における歯科用レーザーの特徴と用途について説明できる。 5. 歯周外科治療後の治癒形態を説明できる。 6. 歯周外科治療の種類を列挙し, 説明できる。 7. 歯周外科治療の適応を説明できる。 8. 各歯周外科治療に用いる器材・薬剤の名称と用途を説明できる。 9. 根分岐部病変の治療を列挙し, 説明できる。	石岡
	B 6/11-4 限				石岡
8	A 6/25-3 限	歯周疾患と全身疾患	1. ペリオドンタルメディシン a 糖尿病 b 肥満 c 心臓血管疾患 d 早産・低出生体重児 e 誤嚥性肺炎 f 骨粗鬆症 2. 高齢者と歯周治療	1. ペリオドンタルメディシンについて説明できる。 2. 高齢者の歯周治療について説明できる。 3. 高齢者の歯周治療における歯科衛生士の役割について説明できる。	石岡
	B 6/25-4 限				石岡
9	A 7/2-3 限	1. 口腔機能回復治療 2. メインテナンス, サポートペリオドンタルセラピー (SPT)	1-1. 口腔機能回復治療の意義と目的 1-2. 口腔機能回復治療の内容 a 咬合治療 b 補綴治療 c 矯正治療 d インプラント治療 2-1. メインテナンス, SPT の意義と目的 2-2. メインテナンス, SPT における患者教育とモチベーション 2-3. メインテナンス, SPT の内容 2-4. リコールの決定 2-5. 全身の健康とメインテナンス	1-1. 口腔機能回復治療の内容を列挙し, 説明できる。 1-2. 口腔機能回復治療後の再評価検査と診断について説明できる。 2-1. メインテナンス, SPT について説明できる。 2-2. メインテナンス, SPT における患者教育とモチベーションについて説明できる。 2-3. メインテナンス, SPT に対する処置内容を説明できる。 2-4. リコールについて説明できる。 2-5. メインテナンス, SPT における歯科衛生士の役割について説明できる。	石岡
	B 7/2-4 限				石岡

科 目 名			担当教員		
歯科補綴学			平井博一郎、植野裕司		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科衛生士の資質向上をはかることを目的にし、咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴治療の基礎知識を習得する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『歯科補綴学』（医歯薬出版） 歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック（クインテッセンス出版）			
成績評価		定期試験、出席状況、授業態度を総合的に評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：平井博一郎、植野裕司			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士の資質向上をはかることを目的にし、咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴治療の基礎知識を習得させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/15-3 限	歯科補綴治療概論	補綴歯科治療の基礎知識 各種検査 (Ⅰ編 1章・2章)	1. 歯科補綴治療の目的を概説できる。 2. 歯の欠損に伴う生理的变化を説明できる。 3. 補綴装置の種類とその特徴を概説できる。 歯科補綴治療における歯科衛生士の役割を概説できる。	植野
	B 4/15-4 限				平井
2	A 4/22-3 限	全部床義歯	全部床義歯治療の概要 全部床義歯治療の流れと診療の補助 (Ⅱ編 3章)	1. 全部床義歯治療の特徴を概説できる。 2. 全部床義歯治療の流れを説明できる。 3. 全部床義歯治療の流れに沿った機材を準備できる。	植野
	B 4/22-4 限				平井
3	A 5/13-3 限	全部床義歯	全部床義歯治療に関連する 併発症とその対応 (Ⅱ編 3章)	1. 全部床義歯治療の患者への説明・指導内容を概説できる。 2. 全部床義歯治療に関連する併発症とその対応が説明できる。	植野
	B 5/13-4 限				平井
4	A 5/20-3 限	部分床義歯	部分床義歯治療の概要 部分床義歯治療の流れと診療の補助 (Ⅱ編 3章)	1. 部分床義歯治療の特徴を概説できる。 2. 部分床義歯治療の流れを説明できる。 3. 部分床義歯治療の流れに沿った機材を準備できる。	植野
	B 5/20-4 限				平井
5	A 5/27-3 限	部分床義歯	部分床義歯治療に関連する 併発症とその対応 (Ⅱ編 3章)	1. 部分床義歯治療の患者への説明・指導内容を概説できる。 2. 部分床義歯治療に関連する併発症とその対応が説明できる。	植野
	B 5/27-4 限				平井
6	A 6/3-3 限	クラウン・ブリッジ	クラウン・ブリッジ治療の概要 部分床義歯治療の流れと診療の補助 (Ⅱ編 2章)	1. クラウン・ブリッジ治療の特徴を概説できる。 2. クラウン・ブリッジ治療の流れを説明できる。 3. クラウン・ブリッジ治療の流れに沿った機材を準備できる。	植野
	B 6/3-4 限				平井
7	A 6/10-3 限	クラウン・ブリッジ	クラウン・ブリッジ治療に関連する 併発症とその対応 (Ⅱ編 2章)	1. クラウン・ブリッジ治療の患者への説明・指導内容を概説できる。 2. クラウン・ブリッジ治療に関連する併発症とその対応が説明できる。	植野
	B 6/10-4 限				平井
8	A 6/24-3 限	インプラント	インプラント治療の概要 インプラント治療の流れと診療の補助 インプラント治療に関連する 併発症とその対応 (Ⅱ編 4章)	1. インプラント治療の特徴を概説できる。 2. インプラント治療の流れを説明できる。 3. インプラント治療の流れに沿った機材を準備できる。	植野
	B 6/24-4 限				平井
9	A 7/1-3 限	特殊な口腔内装置 を用いる治療	顎顔面補綴治療 構音・嚥下機能の補綴治療 顎関節症とブラキシズムの治療 スポーツ外傷の予防 睡眠時無呼吸症候群の歯科的 治療 (Ⅱ編 5章)	1. 顎顔面補綴治療の特徴を概説できる。 2. 構音・嚥下機能の補綴治療の特徴を概説できる。 3. 顎関節症とブラキシズムの治療の特徴を概説できる。 4. スポーツ外傷の特徴を概説できる。 5. 睡眠時無呼吸症候群の治療を概説できる。 6. 特殊な補綴歯科治療での歯科衛生士の役割を概説できる。	植野
	B 7/1-4 限				平井

科 目 名			担当教員		
口腔外科学			李憲起、栗原祐史、植田章夫、佐藤工、渡邊遊里、小口直人		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科衛生士として必要な口腔外科疾患の診査、診断、治療法、予後について理解する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『口腔外科学・歯科麻酔学 第2版』（医歯薬出版）			
成績評価		出席状況、受講態度、定期試験の結果を総合的に評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：栗原祐史、植田章夫、李憲起、佐藤工、渡邊遊里、小口直人			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士として必要な口腔外科疾患の診査、診断、治療法、予後について理解させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/16-1 限	口腔外科学概論	口腔外科学の特徴 診査と診断 歯科診療で問題となる全身疾患	顎口腔の特有性を学び口腔疾患の特徴を理解する 口腔外科診療に必要な診査と診断の項目を理解する 全身疾患と歯科治療時の注意点を理解する	佐藤
	B 4/16-2 限				佐藤
2	A 4/23-1 限	口腔領域の先天 異常と発育異常	歯と口腔軟組織の異常 口唇口蓋裂 顎変形症	顎口腔領域の先天異常及び発育異常の病態と治療法を理解する	佐藤
	B 4/23-2 限				佐藤
3	A 5/14-1 限	顎・顔面の損傷と 顎関節疾患	歯の外傷 軟組織の損傷 骨折 顎関節疾患	顎口腔領域の外傷性疾患及び顎関節疾患についてその種類、病態、治療法を理解する	小口
	B 5/14-2 限				小口
4	A 5/21-1 限	口腔粘膜疾患・口 腔心身症	潰瘍・水疱を主徴とする疾患 紅斑・白斑を主徴とする疾患 口腔心身症	口腔粘膜疾患の病態と治療法を理解する 歯科恐怖症患者の対応を理解する	渡邊
	B 5/21-2 限				渡邊
5	A 5/28-1 限	炎症性疾患	菌性感染症 非特異性炎症 特異性炎症	顎口腔領域に発現する炎症の病態と治療法を理解する	渡邊
	B 5/28-2 限				渡邊
6	A 6/4-1 限	嚢胞と腫瘍	顎骨・顎骨以外に発生する嚢胞 良性・悪性腫瘍	顎口腔領域に発現する嚢胞性疾患及び良性・悪性腫瘍の病態と治療法を理解する	植田
	B 6/4-2 限				植田
7	A 6/11-1 限	唾液腺疾患	唾液腺炎症性疾患 唾石症 唾液腫瘍 口腔乾燥症	唾液腺疾患の病態と治療法を理解する	李
	B 6/11-2 限				李
8	A 6/25-1 限	神経と血液疾患	三叉神経痛 顔面神経麻痺 貧血 白血病 血友病	顎口腔領域に発現する神経疾患の病態と治療法を理解する 血液疾患の病態と歯科治療の関係性を理解する	李
	B 6/25-2 限				李
9	A 7/2-1 限	インプラントと小 手術	口腔外科手術の準備 拔牙術・根尖切除術 歯槽骨整形術 嚢胞摘出・開窓術 口腔インプラント手術	外来における小手術の術式を理解する 口腔インプラント手術手順、介助時の留意点を理解する	栗原
	B 7/2-2 限				栗原

科 目 名			担当教員		
小児歯科学			正村正仁		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		小児期から成人に至るまでの全身と口腔領域の正常な成長発育を理解するとともに、口腔領域に発生する疾患や異常に対して小児の成長発育を考慮した予防、治療ならびに口腔健康管理について診療補助として必要な事項を理解する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『小児歯科学』（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：正村正仁			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、小児期から成人に至るまでの全身と口腔領域の正常な成長発育を理解させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/16・4 限	小児歯科学概論	1. 小児歯科の臨床的意義 2. 成人歯科との相違	1. 小児の定義を説明できる。 2. 小児歯科の意義と目的を説明できる。 3. 小児歯科の重要性を説明できる。	正村
	B 4/16・1 限				正村
2	A 4/23・4 限	人体の成長発育	1. 身体の発育 2. 精神の発達 3. 小児の生理的特徴	1. 身体の成長発育を説明できる。 2. 小児期の分類を説明できる。 3. 暦年齢と生理的年齢を説明できる。 4. 身体の発育評価法を説明できる。 5. 運動機能の発達、情動の発達、言語の発達を説明できる。 6. 小児の生理的特徴を説明できる。	正村
	B 4/23・1 限				正村
3	A 5/12・4 限	成長期の歯科診療	1. 口腔、顎顔面頭蓋の成長 2. 歯の発生、発育、形成障害 3. 乳歯、幼若永久歯の特徴 4. 歯列の成長発育	1. 口腔、顎顔面頭蓋の発育を説明できる。 2. 歯の発育段階、発育時期、形成障害について説明できる。 3. 歯の形成障害の原因を説明できる。 4. 歯の萌出順序を説明できる。 5. 乳歯、幼若永久歯の特徴を説明できる。 6. 成長発育に伴う歯列状態の変化を説明できる。	正村
	B 5/12・1 限				正村
4	A 5/19・4 限	小児患者への対応 1	1. 診療時に必要な小児の心理 2. 患児および保護者と術者との関係 3. 小児診療時の医療環境 4. 小児への歯科的対応法の実際	1. 歯科診療時の小児の心理状態を説明できる。 2. 歯科診療における患児および保護者と術者との関係の重要性を説明できる。 3. 小児診療時の医療事故防止対策を説明できる。 4. 小児診療時に必要な診療環境を説明できる。 5. 小児歯科診療における歯科的対応法の実際を説明できる。	正村
	B 5/19・1 限				正村
5	A 5/26・4 限	小児患者への対応 2	1. 一般的対応法 2. 行動変容法 3. その他の対応法 4. 鎮静減痛法 5. 全身麻酔下集中治療	1. 小児歯科診療における一般的対応法を説明できる。 2. 行動変容法(TSD 法、オペラント条件づけ法、モデリング法等)について説明できる。 3. 抑制法およびその注意点を説明できる。 4. 小児の鎮静、減痛的処置について説明できる。 5. 全身麻酔下集中歯科治療について説明できる。	正村
	B 5/26・1 限				正村
6	A 6/4・4 限	小児のう蝕予防	1. 乳歯う蝕の特徴 2. 幼若永久歯う蝕の特徴 3. 小児のう蝕予防および進行抑制	1. 乳歯う蝕の特徴、好発部位、罹患型分類を説明できる。 2. 幼若永久歯う蝕の特徴、好発部位を説明できる。 3. 小児の歯口清掃法を説明できる。 4. う蝕予防のための食事指導、間食指導を説明できる。 5. う蝕予防のための薬物応用を説明できる。 6. 予防填塞法を説明できる。 7. う蝕の進行抑制法を説明できる。	正村
	B 6/4・1 限				正村

7	A 6/11-4 限	小児 歯 科 診 療 に おける補助 1	1. 補助者の役割 2. 小児の歯冠修復 3. 小児の歯周疾患	1. 小児歯科診療における補助者の役割を説明できる。 2. 診査時や麻酔時の補助について説明できる。 3. ラバーダム防湿の重要性を説明できる。 4. 乳歯の歯冠修復について説明できる。 5. 幼若永久歯の歯冠修復について説明できる。 6. 小児期の健全な歯周組織を説明できる。 7. 小児期にみられる歯周疾患について説明できる。 8. 小児歯周疾患の予防と処置法を説明できる。	正村
	B 6/11-1 限				正村
8	A 6/25-4 限	小児 歯 科 診 療 に おける補助 2	1. 小児の歯内療法 2. 定期健診	1. 乳歯歯髄炎の分類、処置法を説明できる。 2. 幼若永久歯の歯内療法を説明できる。 3. 乳歯と永久歯の根管充填方法の相違を説明できる。 4. 小児歯科における定期健診の重要性を説明できる。 5. 小児に推奨される定期健診の間隔を説明できる。	正村
	B 6/25-1 限				正村
9	A 7/2-4 限	小児 歯 科 診 療 に おける補助 3	1. 小児の外科処置 2. 小児の歯の外傷 3. 咬合誘導 4. 歯科治療時に注意すべき 小児疾患	1. 小児の抜歯処置時の注意事項を説明できる。 2. 乳歯抜去の術式を説明できる。 3. 乳歯抜去後の注意事項を説明できる。 4. 小児の歯の外傷の疫学、分類、処置法を説明できる。 5. 乳歯外傷が後続永久歯におよぼす影響を説明できる。 6. 咬合誘導の意義と目的を説明できる。 7. 静的咬合誘導を説明できる。 8. 動的咬合誘導を説明できる。 9. 歯科治療時に注意すべき小児疾患(流行性耳下腺炎、先天性表皮水疱症、骨形成不全症、無汗型外胚葉異形成症等)およびその注意点を説明できる。	正村
	B 7/2-1 限				正村

科 目 名			担当教員		
歯科矯正学			川原良美、中根隆、倉科勇太		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		矯正歯科臨床を行うため、正常咬合および不正咬合の概念と種類を理解し、さらに治療と予防に関する臨床的に必要な知識を学修する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『歯科矯正学 第2版』（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：川原良美、中根隆、倉科勇太			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、矯正歯科治療の目的・意義を理解するために、不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法等について講義する。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/15-4 限	歯科矯正学概論	矯正歯科治療の目標 矯正歯科治療の概要	1. 歯科矯正学の定義を説明できる。 2. 不正咬合による障害を説明できる。 3. 矯正歯科治療の一般的なプロセスを説明できる。 4. 矯正歯科治療における歯科衛生士の役割を説明できる。	倉科
	B 4/15-1 限				倉科
2	A 4/22-4 限	成長発育	頭蓋・顎顔面の成長発育 歯・歯列の成長発育	1. 顔面および歯・歯列の成長発育とその評価を説明できる。 2. 乳歯列期の特徴を説明できる。 3. 混合歯列期の特徴を説明できる。 4. 永久歯列期の特徴を説明できる。 5. Hellman の咬合発育段階(歯齡)を説明できる。	倉科
	B 4/22-1 限				倉科
3	A 5/13-4 限	咬合	正常咬合 不正咬合の分類 不正咬合の原因・予防	1. 成長発育に伴う正常咬合を説明できる。 2. 正常咬合が成立し保持される条件を説明できる。 3. 不正咬合の原因と種類を説明できる。 4. 不正咬合の予防を説明できる。	倉科
	B 5/13-1 限				倉科
4	A 5/20-4 限	検査と診断	診断に必要な資料 症例分析	1. 矯正歯科治療における検査と診断のプロセスを説明できる。 2. 形態的検査の方法を説明できる。 3. 口腔模型分析の目的と意義を説明できる。 4. 側面頭部エックス線規格写真分析の目的と意義を説明できる。 5. 機能的検査の方法を説明できる。 6. 矯正歯科治療における抜歯の目的を概説できる。 7. 診断に必要な検査・資料を説明できる。 8. 検査と診断に関わる歯科診療の補助を説明できる。	倉科
	B 5/20-1 限				倉科
5	A 5/27-4 限	矯正歯科治療の原理	歯の移動のメカニズム	1. さまざまな歯の移動様式を説明できる。 2. 固定の位置や抵抗の性質を説明できる。 3. 矯正力と歯の移動時の生体反応を説明できる。	中根
	B 5/27-1 限				中根
6	A 6/3-4 限	矯正歯科治療の装置	矯正装置の種類と使用方法	1. 矯正装置の分類を説明できる。 2. 矯正装置の構造および機能を説明できる。 3. 矯正装置の適応を説明できる。 4. 矯正装置装着時の指導内容と注意点を説明できる。 5. 保定の定義と主な装置を説明できる。	中根
	B 6/3-1 限				中根
7	A 6/10-4 限	矯正歯科治療の実際①	不正咬合の種類と治療方法	1. 不正咬合の特徴と治療を概説できる。 2. 口唇裂・口蓋裂の特徴と治療を概説できる。 3. 成人矯正歯科治療を概説できる。 4. 顎変形症と外科的矯正治療を概説できる。 5. MTM(限局矯正)を概説できる。 6. 矯正歯科治療に伴うリスクを説明できる。 7. 偶発症・併発症への対応を説明できる。	中根
	B 6/10-1 限				中根

8	A 6/24・4 限	矯正歯科治療の実際②	矯正歯科治療に用いる 器材	1. 矯正歯科治療に用いる器材を説明できる。 2. マルチブラケット装置の装着 撤去の手順を説明できる。 3. 矯正歯科治療に用いる器材の再生処理を説明できる。	中根
	B 6/24・1 限				中根
9	A 7/1・4 限	口腔保健管理	口腔筋機管理方法と口 腔衛生管理方法	1. 口腔筋機能療法について説明できる。 2. 矯正歯科治療における口腔衛生管理について説明できる。 3. 矯正装置に関わる指導を説明できる。 4. 保定中の管理と指導を説明できる。	中根
	B 7/1・1 限				中根

科 目 名			担当教員		
歯科放射線学			山田真一郎、森 こず恵		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	10	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに歯科診療補助としての十分な知識、技能を有するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護について理解する。			
教科書		歯科衛生士テキスト『わかりやすい歯科放射線学第3版』(学建書院)			
成績評価		定期試験の成績、出席状況、受講態度で評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:山田真一郎、森 こず恵			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに歯科診療補助としての十分な知識、技能を講義し、放射線の人体に対する影響や放射線防護について正しく理解させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 5/13-2 限	1.放射線とエックス線	- 放射線の種類、性質、単位 - エックス線の発生、特徴 - 生体に対する影響 - 放射線障害の分類 - 口内法のエックス線撮影装置 - フィルムの種類と特徴	- 放射線の種類とエックス線の性質、単位、発生について説明できる。 - 放射線の感受性や身体的影響と遺伝的影響、確定的影響と確率的影響について説明できる。 - 口内法撮影装置やフィルムの構造について説明できる。 - 画像形成における幾何学的因子を説明できる。	山田
	B 5/13-3 限	2.放射線の影響 3.歯科用エックス線装置 4.エックス線画像の形成			
2	A 5/20-2 限	5.口内法の撮影法	- 撮影室までの患者誘導から退室 - 口内法の撮影法 - X線照射とその後の注意 - 現像写真の管理	- 各種撮影方法について説明できる。 - エックス線照射と撮影後のフィルムの扱いを理解する。 - 撮影室までの患者誘導から退室までの流れを理解する。	山田
	B 5/20-3 限				
3	A 5/27-2 限	6.口外法の撮影法	- パノラマエックス線撮影 - 頭部エックス線規格撮影 - CT, MRI, CBCT, US 他 - 造影検査法	- パノラマエックス線撮影の特徴や、実際の撮影手順を説明できる。 - 頭部エックス線規格撮影の特徴を説明できる。 - 顎・顔面領域で利用する特殊画像検査法の種類、特徴、適応を説明できる。	森
	B 5/27-3 限				
4	A 6/3-2 限	7.フィルム処理 8.デジタルX線システム 9.正常なエックス線画像	- フィルム処理の流れ - 各種現像方法、廃液処理 - デジタル X 線撮影の種類、特徴 - 口内法、パノラマの正常解剖	- フィルム処理や現像手順について説明できる。 - デジタルエックス線のシステムや画像の特徴について説明できる。 - 正常解剖像を理解し説明できる。	森
	B 6/3-3 限				
5	A 6/10-2 限	10.病変の画像例 11.放射線の防護と管理 12.放射線治療	- 病変の画像例 - 放射線防護の目的、分類、管理 - 放射線治療の方法、副作用 - 放射線治療患者の口腔管理	- 実際の症例について画像所見を理解する。 - 被ばくの種類、放射線防護体系、被ばく線量測定について正しく理解する。 - 放射線治療の方法、種類、副作用について説明できる。 - 放射線治療前後の口腔内管理について理解し、説明できる。	森
	B 6/10-3 限				

科 目 名			担当教員		
歯科麻酔学			谷山 貴一		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	8	講義	○
授業の目的(GIO)	1. 全身状態の評価に必要な基本的事項を理解する。 2. バイタルサインについて理解する。 3. 歯科治療における局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔の基本を理解する。 4. 救急処置の基本を理解する。				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『口腔外科学・歯科麻酔学 第2版』（医歯薬出版）				
成績評価	定期試験の成績、出席状況、受講態度で評価する。				
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科医師：谷山 貴一				
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、安全で快適な歯科治療のために歯科麻酔に関する基本的な知識と技能を講義し、全身状態の評価、歯科治療における麻酔・精神鎮静法・救急処置の基本を理解させる。				
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 5/14・2 限	全身状態評価 心肺蘇生法	1. バイタルサイン 2. モニタリング 3. 一次救命処置 4. 二次救命処置	1. バイタルサインを把握できる。 2. 呼吸器系・循環器系のモニターについて説明できる。 3. 一次救命処置を説明できる。 4. 二次救命処置を説明できる。	谷山
	B 5/14・3 限				谷山
2	A 5/21・2 限	局所麻酔	1. 局所麻酔薬 2. 血管収縮薬 3. 局所麻酔法 1) 表面麻酔 2) 浸潤麻酔 3) 伝達麻酔	1. 局所麻酔薬を分類できる。 2. 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 3. 局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。	谷山
	B 5/21・1 限				谷山
3	A 5/28・2 限	局所麻酔の合併症 歯科治療時の全身偶発症	1. 局所麻酔の局所的合併症 2. 局所麻酔の全身的合併症 3. 神経性ショック 4. 過換気症候群 5. アナフィラキシーショック	1. 局所麻酔の合併症を説明できる。 2. 歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山
	B 5/28・3 限				谷山
4	A 6/4・2 限	精神鎮静法 全身麻酔	1. 吸入鎮静法 2. 静脈内鎮静法 3. 吸入麻酔 4. 静脈内麻酔	1. 精神鎮静法の目的を説明できる。 2. 精神鎮静法の種類を説明できる。 3. 全身麻酔の目的を説明できる。 4. 全身麻酔の種類を説明できる。	谷山
	B 6/4・3 限				谷山

科 目 名			担当教員		
障害者歯科学・高齢者歯科学			林 昶廷、廖 秉承		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		スペシャルニーズのある人へ歯科保健と歯科医療を提供するための態度を習得する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修:歯科衛生学シリーズ『障害者歯科学』(医歯薬出版) 全国歯科衛生士教育協議会監修:歯科衛生学シリーズ『高齢者歯科学』(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師:林 昶廷、廖 秉承			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、スペシャルニーズのある人や高齢者に歯科保健と歯科医療を提供するために必要な知識を習得させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/15-1 限	障害者歯科総論 障害者歯科各論 1	障害の概念 発達障害と歯科医療	1. スペシャルニーズおよび障害者の概念を理解する。 2. ICFについて理解する。 3. ノーマライゼーションとバリアフリーを理解する。 4. 障害者の社会福祉制度を理解する。 5. 知的能力障害などの発達障害について理解する。 6. 発達障害者の口腔内の特徴を理解する。	廖
	B 4/15-2 限				廖
2	A 4/22-1 限	障害者歯科各論 2	身体障害・精神障害と歯科医療	1. 身体障害について理解する。 2. 精神障害について理解する。 3. 身体障害者の口腔内の特徴を理解する。 4. 精神障害者の口腔内の特徴を理解する。	廖
	B 4/22-2 限				廖
3	A 5/13-1 限	障害者歯科各論 3	障害者への行動調整	様々な行動調整法を理解する。	廖
	B 5/13-2 限				廖
4	A 5/20-1 限	障害者歯科各論 4	障害者への口腔衛生管理 障害者への歯科保健指導 地域における障害者歯科	1. 障害者への口腔ケアを理解する。 2. 障害や疾患別の口腔衛生管理を説明できる。 3. 障害者への歯科保健指導について理解する。 4. 地域医療連携を理解する。 5. 地域でのかかりつけ歯科医の有利性を理解する。 6. 各医療機関での歯科衛生士の役割を理解する。	廖
	B 5/20-2 限				廖
5	A 5/27-1 限	高齢者歯科総論	老年医学総論 老化に伴う全身的な変化	高齢者と歯科を説明する。 全身的な加齢変化を説明する。	林
	B 5/27-2 限				林
6	A 6/3-1 限	高齢者歯科各論 1	老化に伴う口腔の変化 高齢者の症候と評価	口腔の加齢変化を説明する。 高齢者の症候と評価を説明する。	林
	B 6/3-2 限				林
7	A 6/10-1 限	高齢者歯科各論 2	高齢者によく見られる疾患(1)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	林
	B 6/10-2 限				林
8	A 6/24-1 限	高齢者歯科各論 3	高齢者によく見られる疾患(2) 高齢者に対する口腔ケア	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。 高齢者への口腔ケアについて説明する。	林
	B 6/24-2 限				林
9	A 7/1-1 限	まとめ	まとめ	今までの講義を復習する。	林
	B 7/1-2 限				林

科 目 名			担当教員		
摂食・嚥下学			田村瞬至		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	1	18	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科医療における摂食・嚥下リハビリテーションの役割を理解し、歯科衛生士の役割について理解する。			
教科書		歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション第2版(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師:田村瞬至			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、高齢者歯科医療、在宅訪問歯科医療における摂食・嚥下リハビリテーションの役割を講義し、歯科衛生士に必要な知識を習得させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 5/16-3 限	摂食・嚥下に関わる解剖・生理	摂食・嚥下機能に関連する解剖・嚥下メカニズムについて説明する。	摂食・嚥下機能に関わる各部位の名称を覚え、嚥下時の役割について理解する。	田村
	B 5/15-3 限				田村
2	A 5/23-3 限	摂食・嚥下に関わるスクリーニング検査	口腔・咽頭機能障害の診査の仕方について説明する。	摂食・嚥下障害のスクリーニングテストの方法を説明できる。	田村
	B 5/22-3 限				田村
3	A 5/30-3 限	摂食・嚥下障害を伴う疾患	摂食・嚥下機能障害の原因疾患と病態について説明する。	脳血管疾患、アルツハイマー病の病態と嚥下障害について理解する。	田村
	B 5/29-2 限				田村
4	A 6/6-3 限	摂食・嚥下障害の精密検査	内視鏡検査(VE)とビデオ嚥下造影検査(VF)を用いた摂食・嚥下障害の診断方法を説明する。	VE・VFによって口腔、咽頭がどのように見ることができるか理解し、利点、欠点について説明できる。	田村
	B 6/5-3 限				田村
5	A 6/13-3 限	摂食・嚥下障害者への対応(1)	摂食・嚥下障害者への機能訓練の目的と方法について学ぶ。	機能訓練の目的と実践方法について理解する。	田村
	B 6/12-3 限				田村
6	A 6/20-3 限	摂食・嚥下障害者への対応(2)	摂食・嚥下障害者への機能訓練の目的と方法について学ぶ。	機能訓練の目的と実践方法について理解する。	田村
	B 6/19-3 限				田村
7	A 6/30-1 限	対応(3) 食事姿勢と食形態	摂食・嚥下障害者への食事姿勢と食形態について学ぶ。	食事姿勢と食形態について理解する。	田村
	B 6/30-2 限				田村
8	A 7/7-1 限	乳幼児の摂食発達	咀嚼機能が発達するまでの乳幼児に見られる特徴について学ぶ。	乳幼児の口腔の特徴・嚥下動作について理解する。	田村
	B 7/7-2 限				田村
9	A 7/14-1 限	嚥下と多職種連携	訪問診療の中で期待される多職種との地域連携について説明する。	多職種との連携について理解する。	田村
	B 7/14-2 限				田村

科 目 名			担当教員		
歯科予防処置論Ⅱ			中島香奈子 〔授業補助〕竹岡亜紀、島田陽子、三村杏奈、高山きよ江		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	2	48	演習	○
授業の目的(GIO)		口腔健康管理に必要な基礎知識・技術をもとに、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果および実習記録等の提出状況と内容を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科衛生士：中島香奈子			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/17-1 限	フッ化物塗布 相互実習 1	フッ化物塗布① (フルオールゼリー®)	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 4/18-1 限				中島
2	A 4/17-2 限	フッ化物塗布 相互実習 2	フッ化物塗布② (フルオールゼリー®)	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 4/18-2 限				中島
3	A 4/24-1 限	口 腔 内 診 査 ・ PCR 相互実習 1	口腔内診査① ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴装置 染色・PCR 診査①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 4/25-1 限				中島
4	A 4/24-2 限	口腔内診査・PCR 相互実習 2	口腔内診査② ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴装置 染色・PCR 診査②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 4/25-2 限				中島
5	A 5/8-1 限	口腔内診査・PCR 相互実習 5	口腔内診査⑤ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴装置 染色・PCR 診査⑤	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 5/9-1 限				中島

6	A 5/8-2 限	口腔内診査・PCR 相互実習 6	口腔内診査⑥ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴装置 染色・PCR 診査⑥	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 5/9-2 限				中島
7	A 5/15-1 限	プロービング 相互実習 1	プロービング(6点法)①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービングの結果を記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 5/16-1 限				中島
8	A 5/15-2 限	プロービング 相互実習 2	プロービング(6点法)②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービングの結果を記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 5/16-2 限				中島
9	A 5/22-1 限	PMTC相互実習 1	PMTC①	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 5/23-1 限				中島
10	A 5/22-2 限	PMTC相互実習 2	PMTC①	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 5/23-2 限				中島
11	A 5/29-1 限	PMTC相互実習 5	PMTC②	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 5/30-1 限				中島
12	A 5/29-2 限	PMTC相互実習 6	PMTC②	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 5/30-2 限				中島
13	A 6/5-1 限	PMTC相互実習 9	PMTC③	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 6/6-1 限				中島
14	A 6/5-2 限	PMTC相互実習 10	PMTC③	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	中島
	B 6/6-2 限				中島
15	A 6/12-1 限	スケーリング 相互実習 1	スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 6/13-1 限				中島
16	A 6/12-2 限	スケーリング 相互実習 2	スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 6/13-2 限				中島
17	A 6/19-1 限	スケーリング 相互実習 5	スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 6/20-1 限				中島
18	A 6/19-2 限	スケーリング 相互実習 6	スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 6/20-2 限				中島

19	A 6/26-1 限	スケーリング 相互実習 9	スケーリング③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 6/27-1 限				中島
20	A 6/26-2 限	スケーリング 相互実習 10			中島
	B 6/27-2 限				中島
21	A 7/3-1 限	超音波スケーリン グ 相互実習 1	超音波スケーリング①	1. 超音波スケーラーの構成・特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 7/4-1 限				中島
22	A 7/3-2 限	超音波スケーリン グ 相互実習 2	超音波スケーリング②		中島
	B 7/4-2 限				中島
23	A 7/10-1 限	超音波スケーリン グ 相互実習 5	超音波スケーリング⑤	1. 超音波スケーラーの構成・特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	中島
	B 7/11-1 限				中島
24	A 7/10-2 限	超音波スケーリン グ 相互実習 6	超音波スケーリング⑥		中島
	B 7/11-2 限				中島

科 目 名			担当教員		
歯科予防処置論Ⅲ			中島香奈子、竹岡亜紀 [授業補助]島田陽子、三村杏奈、高山きよ江		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	1	24	演習	○
授業の目的 (GIO)		口腔の健康維持・増進を目的とした専門的処置を行うための基礎技術を習得する。 2学年前期までに学んだ項目について自身の履修状況を確認し、知識と技術を統合させる。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ『歯周病学』(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科衛生士: 中島香奈子、竹岡亜紀			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 10/16-1 限	復習・まとめ 1	第1学年～第2学年前期までの復習 とまとめ	1. 履修内容を整理し要点を理解できる。 2. 自身の課題を明確にできる。	竹岡
	B 10/16-2 限				竹岡
2	A 10/23-1 限	復習・まとめ 2	第1学年～第2学年前期までの復習 とまとめ	1. 履修内容を整理し要点を理解できる。 2. 自身の課題を明確にできる。	竹岡
	B 10/23-2 限				竹岡
3	A 10/30-1 限	シャープニング 1	1. 目的・必要性 2. 器具・器械の種類 3. 手用研磨器具	1. シャープニングの目的と必要性を説明できる。 2. シャープニング器具・器械を列挙できる。 3. 手用研磨に必要な器具を列挙できる。	中島
	B 10/30-2 限				中島
4	A 11/6-1 限	シャープニング 2	1. ストーンの種類・特徴 2. 研磨の原則 3. 研磨の手順	1. ストーンの種類と特徴を説明できる。 2. 操作の原則を説明できる。	中島
	B 11/6-2 限				中島
5	A 11/13-1 限	シャープニング 3	シャープニング実習① (ダル#13/14)	1. 刃部の形態的特徴を説明できる。 2. シャープニングの準備ができる。 3. シャープニングを実施できる。 4. 後片付けができる(ストーンの保管含む)。	中島
	B 11/13-2 限				中島
6	A 11/20-1 限	シャープニング 4	シャープニング実習② (キュレット#13/14)	1. 刃部の形態的特徴を説明できる。 2. シャープニングの準備ができる。 3. シャープニングを実施できる。 4. 後片付けができる(ストーンの保管含む)。	中島
	B 11/20-2 限				中島
7	A 2/5-1 限	シャープニング 5	シャープニング実習③ (キュレット#5～12)	1. 刃部の形態的特徴を説明できる。 2. シャープニングの準備ができる。 3. シャープニングを実施できる。 4. 後片付けができる(ストーンの保管含む)。	中島
	B 2/5-2 限				中島
8	A 2/6-3 限	シャープニング 6	シャープニング実習④ (キュレット#5～12)	1. 刃部の形態的特徴を説明できる。 2. シャープニングの準備ができる。 3. シャープニングを実施できる。 4. 後片付けができる(ストーンの保管含む)。	中島
	B 2/6-1 限				中島
9	A 2/6-4 限	シャープニング 7	シャープニング実習⑤ (シックル#5～7)	1. 刃部の形態的特徴を説明できる。 2. シャープニングの準備ができる。 3. シャープニングを実施できる。 4. 後片付けができる(ストーンの保管含む)。	中島
	B 2/6-2 限				中島
10	A 2/12-1 限	鋭匙型スケーラー (ロングネック)	スケーリング実習 ミニファイブの操作法 (部位指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 部位に適した運動でスケーラーを操作できる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しなく除去できる。	中島
	B 2/12-2 限				中島

11	A 2/13-3 限	う蝕予防法 6	1. イオン導入に用いるフッ化物製剤 2. イオン導入実習	1. 使用製剤を説明できる。 2. イオン導入の手順を説明できる。 3. イオン導入の準備をして実施できる。	中島
	B 2/13-1 限				中島
12	A 2/13-4 限	復習・まとめ 3	第1学年～第2学年後期までの復習 とまとめ	1. 履修内容を整理し要点を理解できる。 2. 自身の課題を明確にできる。	竹岡
	B 2/13-2 限				竹岡

科 目 名			担当教員		
歯科保健指導論Ⅱ			三村杏奈 〔授業補助〕島田陽子、竹岡亜紀、高山きよ江、中島香奈子		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	2	48	演習	○
授業の目的(GIO)		口腔保健の基礎知識を基に、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』（医歯薬出版） 歯科衛生学シリーズ『歯周病学』（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験、実技試験の結果および実習記録等の提出状況と内容を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科衛生士：三村杏奈			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科衛生士として実務経験のある教員が、ライフステージごとの歯科的特徴、生活習慣、全身との関連を理解させ、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/17-3 限	フッ化物塗布 相互実習 3	フッ化物塗布③ (フルオールゼリー®)	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 4/18-3 限				三村
2	A 4/17-4 限	フッ化物塗布 相互実習 4	フッ化物塗布④ (フルオールゼリー®)	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 4/18-4 限				三村
3	A 4/24-3 限	口腔内診査・PCR 相互実習 3	口腔内診査③ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴装置 染色・PCR 診査③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
	B 4/25-3 限				三村
4	A 4/24-4 限	口腔内診査・PCR 相互実習 4	口腔内診査④ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴装置 染色・PCR 診査④	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
	B 4/25-4 限				三村
5	A 5/8-3 限	口腔内診査・PCR 相互実習 7	口腔内診査⑦ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴装置 染色・PCR 診査⑦	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
	B 5/9-3 限				三村

6	A 5/8-4 限	口腔内診査・PCR 相互実習 8	口腔内診査⑧ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴装置 染色・PCR 診査⑧	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
	B 5/9-4 限				三村
7	A 5/15-3 限	プロービング 相互実習 3	プロービング(6点法)③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービングの結果を記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 5/16-3 限				三村
8	A 5/15-4 限	プロービング 相互実習 4	プロービング(6点法)④	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービングの結果を記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 5/16-4 限				三村
9	A 5/22-3 限	PMTC相互実習 3	PMTC①	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 5/23-3 限				三村
10	A 5/22-4 限	PMTC相互実習 4	PMTC①	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 5/23-4 限				三村
11	A 5/29-3 限	PMTC相互実習 7	PMTC②	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 5/30-3 限				三村
12	A 5/29-4 限	PMTC相互実習 8	PMTC②	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 5/30-4 限				三村
13	A 6/5-3 限	PMTC相互実習 11	PMTC③	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 6/6-3 限				三村
14	A 6/5-4 限	PMTC相互実習 12	PMTC③	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
	B 6/6-4 限				三村
15	A 6/12-3 限	スケーリング 相互実習 3	スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
	B 6/13-3 限				三村
16	A 6/12-4 限	スケーリング 相互実習 4	スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
	B 6/13-4 限				三村
17	A 6/19-3 限	スケーリング 相互実習 7	スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
	B 6/20-3 限				三村
18	A 6/19-4 限	スケーリング 相互実習 8	スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
	B 6/20-4 限				三村

19	A 6/26-3 限	スケーリング 相互実習 11	スケーリング③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. スケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村	
	B 6/27-3 限				三村	
20	A 6/26-4 限	スケーリング 相互実習 12			三村	
	B 6/27-4 限				三村	
21	A 7/3-3 限	超音波スケーリング 相互実習 3	超音波スケーリング③	1. 超音波スケーラーの構成・特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村	
	B 7/4-3 限				三村	
22	A 7/3-4 限	超音波スケーリング 相互実習 4			超音波スケーリング④	三村
	B 7/4-4 限					三村
23	A 7/10-3 限	超音波スケーリング 相互実習 7	超音波スケーリング⑦	1. 超音波スケーラーの構成・特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。		三村
	B 7/11-3 限					三村
24	A 7/10-4 限	超音波スケーリング 相互実習 8			超音波スケーリング⑧	三村
	B 7/11-4 限					三村

科 目 名			担当教員		
歯科保健指導論Ⅲ			島田陽子、三村杏奈		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	1	24	演習	○
授業の目的(GIO)		口腔保健の基礎知識を基に、ライフステージごとの歯科的特徴、生活習慣、全身との関連を理解し、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士：島田陽子、三村杏奈			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として実務経験のある教員が、ライフステージごとの歯科的特徴、生活習慣、全身との関連を理解させ、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 10/10-3 限	業務記録	1. 歯科衛生士業務記録 2. POS 3. SOAP記録	1. 業務記録の目的と意義を説明できる。 2. 業務記録の種類と形式を述べることができる。 3. 記入上の注意点を説明できる。 4. 問題志向型システムを説明できる。 5. SOAP 形式、SOAPIE 形式を説明できる。	島田
	B 10/10-1 限				島田
2	A 10/17-3 限	ライフステージに対応した歯科衛生介入	妊産婦期	1. 一般的特徴を述べることができる。 2. 口腔の特徴を説明できる。 3. 望ましい保健行動を説明できる。 4. プロフェッショナルケアの目標を説明できる。 5. セルフケアの目標を説明できる。 6. 食生活の特徴と栄養を述べることができる。 7. 食生活指導を概説できる。	島田
	B 10/17-1 限				島田
3	A 10/24-3 限		新生児期・乳児期		島田
	B 10/24-1 限				島田
4	A 10/31-3 限		幼児期		島田
	B 10/31-1 限				島田
5	A 11/7-3 限		学齢期		島田
	B 11/7-1 限				島田
6	A 11/14-3 限		青年期		島田
	B 11/14-1 限				島田
7	A 11/21-3 限		成人期		島田
	B 11/21-1 限				島田
8	A 11/28-3 限		老年期		島田
	B 11/28-1 限				島田
9	A 12/5-3 限	禁煙支援	喫煙者に対する指導	1. 喫煙具の種類を概説できる。 2. 喫煙が及ぼす影響を概説できる。 3. 喫煙に関連する口腔疾患を説明できる。 4. 問診票を用いて情報収集ができる。 5. 禁煙ステージの特徴を説明できる。 6. 禁煙支援のポイントを説明できる。 7. 禁煙治療を説明できる	三村
	B 12/5-1 限				三村
10	A 12/12-3 限	配慮を要する者への歯科衛生介入	要介護高齢者	1. 要介護高齢者の特徴を説明できる。 2. 要介護高齢者への歯科衛生介入を説明できる。	島田
	B 12/12-1 限				島田
11	A 12/19-3 限		障害児者	1. 障害児者の特徴を説明できる。 2. 障害児者への歯科衛生介入を説明できる。	島田
	B 12/19-1 限				島田
12	A 1/9-3 限		大規模災害被災者	1. 大規模災害被災者の特徴を説明できる。 2. 大規模災害時の歯科保健活動を説明できる。	島田
	B 1/9-1 限				島田

科 目 名			担当教員		
歯科診療補助論Ⅱ			高山きよ江、黒岩昭弘 〔授業補助〕竹岡亜紀、三村杏奈、中島香奈子、島田陽子		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	2	48	演習	○
授業の目的(GIO)	臨床実習において、安全に見学・介助を行うために、登院時に必要な歯科器材の取り扱いと歯科診療の流れに関する基本的な知識・技術・態度を修得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ:『歯科診療補助論』、『歯科材料』、『歯科機器』（医歯薬出版） 歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック（クインテッセンス出版）				
成績評価	定期試験				
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科衛生士:高山きよ江 歯科医師:黒岩昭弘				
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科衛生士として病院勤務経験のある教員が、チーム医療における共同動作の意義を理解させ、知識・技術を習得させる。また、全身の疾病の理解と対象年齢に応じた患者への接し方についても習得させる。 歯科医師として病院勤務経験のある教員が、臨床経験をもとに、日常で使われている材料の話題も交えながら、歯科衛生士に必要な歯科材料の基礎知識を理解させ、関心を持って主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。				
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/14・3 限	ワックス、 金属 セラミックス	用途、分類、種類、性質	用途、分類、種類、性質について理解する。	黒岩
	B 4/14・4 限				黒岩
2	A 4/18・1 限	合着材・接着材	1. 合着材 2. 接着材	1. 合着材の硬化反応と特性について理解する。 2. 接着材の特性と歯面処理について理解する。	黒岩
	B 4/17・1 限				黒岩
3	A 4/21・3 限	合着材 1	リン酸亜鉛セメント 1)成分 2)特徴 3)取り扱い 4)実習	1. 成分、特徴、用途、稠度、硬化時間を説明できる。 2. ガラス練板の使用目的を説明できる。 3. 粉末の分割方法を説明できる。 4. 練和に必要な器材を列挙できる。 5. 取り扱い方法を説明できる。 6. ガラス練板の取り扱いができる。 7. 金属スパチュラの取り扱いができる。 8. 練和操作ができる。	高山
	B 4/21・4 限				高山
4	A 4/25・1 限	合着材 2	1. ポリカルボキシレートセメント 2. 従来型 ガラスアイオノマーセメント 3. レジン添加型 ガラスアイオノマーセメント 1)成分 2)特徴 3)取り扱い 4. 実習 レジン添加型 ガラスアイオノマーセメント	1. 成分を説明できる。 2. 特徴を説明できる。 3. 用途を説明できる。 4. 稠度を説明できる。 5. 硬化時間を説明できる。 6. 練和に必要な器材を列挙できる。 7. 取り扱い方法を説明できる。 8. 適切な粉液比で練和できる。 9. 従来型ガラスアイオノマーセメントとレジン添加型 ガラスアイオノマーセメントの違いを説明できる。 10. レジン添加型ガラスアイオノマーセメントを練和できる。	高山
	B 4/24・1 限				高山
5	A 4/28・3 限	合着材 3	実習 1)ポリカルボキシレートセメント 2)従来型 ガラスアイオノマーセメント	1. 練和に必要な器材を列挙できる。 2. 紙練板の取り扱いができる。 3. プラスチックスパチュラの取り扱いができる。 4. 適切な粉液比で練和できる。	高山
	B 4/28・4 限				高山
6	A 5/9・3 限	仮封材・仮着材	仮封材・仮着材・暫間修復材	仮封材・仮着材および暫間修復材の種類について理解する。	黒岩
	B 5/8・1 限				黒岩

7	A 5/12-3 限	暫間修復材・ 仮着用セメント (仮着材)	1. 暫間修復材 1) 用途、種類 2) 暫間修復材の取り扱い 3) プロビジョナルレストレーション 2. 仮着用セメント 1) 目的、種類 2) 取り扱い方法 3) セメント泥の盛り付け方 3. 実習 既製冠へのセメント泥の盛り付け	1. 暫間修復について説明できる。 2. 暫間修復に使用される種類・材料を説明できる。 3. 暫間修復に必要な器材を列挙できる。 4. プロビジョナルレストレーションの目的を説明できる。 5. 仮着用セメントの目的を説明できる。 6. 仮着用セメント種類を説明できる。 7. 練和に必要な器材を列挙できる。 8. 取り扱い方法を説明できる。 9. 適切な量で練和できる。 10. 盛り付け操作ができる。	高山
	B 5/12-4 限				高山
8	A 5/16-1 限	仮封材 1	酸化亜鉛ユージノールセメント 1) 成分、用途 2) 特徴(利点・欠点) 3) 取扱い方法 4) 実習	1. 成分、特徴、用途、稠度、硬化時間を説明できる。 2. 練和に必要な器材を列挙できる。 3. 取り扱い方法を説明できる。 4. 練和操作ができる。	高山
	B 5/15-1 限				高山
9	A 5/19-3 限	仮封材 2	実習 1) 酸化亜鉛ユージノールセメント 2) リン酸亜鉛セメント 3) グラスアイオノマーセメント	1. 練和操作ができる。 2. 課題を挙げ改善できる。	高山
	B 5/19-4 限				高山
10	A 5/23-1 限	仮封材 3	実習 1) テンポラリーストップング 2) 水硬性仮封材	1. 各種仮封材を適切に取り扱うことができる。 2. 顎模型上で仮封操作ができる。 3. フォーハンドでの仮封操作の介助ができる。	高山
	B 5/22-1 限				高山
11	A 5/26-3 限	裏層材	1. ライニングとベースの違い 2. 種類、取り扱い方法 3. ライニング用、ベース用 4. 実習 グラスアイオノマーセメント	1. ライニングとベースの違いを説明できる。 2. 練和に必要な器材を列挙できる。 3. 取り扱い方法を説明できる。 4. 用途による稠度の違いを説明できる。 5. 適切な稠度で練和できる。	高山
	B 5/26-4 限				高山
12	A 5/30-4 限	歯科補綴に関わ る材料	人工歯・義歯床用レジン・ブリッジ・イ ンプラントに使用する材料	人工歯、義歯床、ブリッジ、インプラントに使用される 材料の特徴を概説できる。	黒岩
	B 5/29-1 限				黒岩
13	A 6/2-3 限	義歯床用裏装材	1. リラインとリベース 2. 裏装材 3. 粘膜調整材 4. 適合試験材 5. 実習	1. リラインとリベースの違いを説明できる。 2. 裏装材の取り扱い方法を説明できる。 3. 粘膜調整の目的を説明できる。 4. 粘膜調整材の取り扱い方法を説明できる。 5. 適合試験の目的を説明できる。 6. 適合試験材の取り扱い方法を説明できる。 7. 練和に必要な器材を列挙できる。 8. 裏装材と粘膜調整材が練和できる。 9. 裏装材と粘膜調整材の性状の違いを観察できる。	高山
	B 6/2-4 限				高山
14	A 6/6-1 限	根管充填用 セメン	1. 基礎知識 2. 根管充填材の種類 3. 根管充填用セメントの目的 4. 根管充填用セメントの取り扱い 5. 練和に必要な器材 6. 実習 非ユージノールセメント	1. 根管治療の流れを概観できる。 2. 根管充填材の種類を列挙できる。 3. 根管充填用セメントの目的を説明できる。 4. 根管充填用セメントの取り扱いを説明できる。 5. 練和に必要な器材を列挙できる。 6. 練和できる。	高山
	B 6/5-1 限				高山
15	A 6/9-3 限	歯周パック材	1. 基礎知識 2. 歯周パック材の種類 3. 非ユージノール系の組成 4. 貼付および除去方法 5. 患者指導 6. 実習 1) 非ユージノール系の練和 2) 顎模型貼付(上顎前歯部) 3) 患者指導	1. 歯周外科処置の流れを概観できる。 2. 歯周パック材の種類を挙げることができる。 3. 非ユージノール系の組成を概説できる。 4. 歯周パックの目的を説明できる。 5. 練和に必要な器材を列挙できる。 6. 取り扱い方法を説明できる。 7. 貼付および除去方法を説明できる。 8. 非ユージノール系の練和ができる。 9. 顎模型上で貼付ができる。 10. 患者指導の内容を検討できる。	高山
	B 6/9-4 限				高山

16	A 6/13-1 限	切削用機器	1. 切削・研削・研磨の定義 2. マイクロモーター、エアタービンの違い 3. マイクロモーター、エアタービンの用途 4. 切削器具 5. 研削器具 6. 研磨用器具	1. 切削・研削・研磨の定義を説明できる。 2. マイクロモーター、エアタービンの違いを説明できる。 3. マイクロモーター、エアタービンの用途を説明できる。 4. 切削器具の名称と用途を説明できる。 5. 研削器具の名称と用途を列挙できる 6. 研磨用器具の名称と用途を列挙できる。	高山
	B 6/12-1 限				高山
17	A 6/20-1 限	トレーセッティング 1(保存修復)	1. 直接修復 コンポジットレジン修復 2. 間接修復 1)インレー形成、印象採得 2)インレー合着	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
	B 6/19-1 限				高山
18	A 6/23-3 限	トレーセッティング 2(歯内療法)	1. 歯髄処置(麻酔抜髄法) 2. 根管処置(根管充填)	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
	B 6/23-4 限				高山
19	A 6/27-1 限	トレーセッティング 3(歯周外科治療)	フラップ手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
	B 6/26-1 限				高山
20	A 6/30-3 限	トレーセッティング 4(矯正治療)	1. 矯正歯科用機器 2. 矯正歯科用材料	1. 矯正歯科用機器および材料の名称を説明できる。 2. 矯正歯科用機器および材料の用途を説明できる。	高山
	B 6/30-4 限				高山
21	A 7/4-1 限	トレーセッティング 5(補綴治療)	全部床義歯の咬合採得	1. 咬合採得の手順を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
	B 7/3-1 限				高山
22	A 7/7-3 限	トレーセッティング 6(口腔外科治療)	1. 普通抜歯手術 2. 埋伏抜歯手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
	B 7/7-4 限				高山
23	A 7/11-1 限		1. 歯槽骨整形手術 2. 歯根端(尖)切除術 3. 消炎手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
	B 7/10-1 限				高山
24	A 7/14-3 限	トレーセッティング 7	持針器・縫合針の取り扱い	1. 縫合に使用する器材を列挙できる。 2. 安全に持針器・縫合針の取り扱いができる。	高山
	B 7/14-4 限				高山

科 目 名			担当教員		
歯科診療補助論Ⅲ			高山きよ江、荻上あゆみ、高野さかや、大澤由里子、青木愛加 〔授業補助〕竹岡亜紀、三村杏奈、中島香奈子、島田陽子		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	1	24	演習	○
授業の目的（GIO）		全身的疾病を理解したうえで対象に応じた患者への接し方に関する知識、技術、態度を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『臨床検査』（医歯薬出版）〔青木〕 歯科衛生士のための看護学大意第4版（医歯薬出版）〔荻上、高野、大澤〕 歯科衛生学シリーズ：『高齢者歯科学』『歯科補綴学』（医歯薬出版）〔高山〕			
成績評価		定期試験			
実務経験のある教員及び実務経験職種		臨床検査技師：青木愛加／看護師：荻上あゆみ・高野さや香・大澤由里子 ／歯科衛生士：高山きよ江			
実務経験を踏まえた授業の内容		臨床検査技師として病院勤務経験のある教員が、歯科衛生士として習得すべき臨床検査について講義し、全身的疾病の理解を向上させる。 看護師として病院勤務経験のある教員が、歯科衛生士に必要な看護学の基礎を講義し、臨床実習に応用できる知識を習得させる。 歯科衛生士として病院勤務経験のある教員が、チーム医療における共同動作の意義を理解させ、知識・技術を習得させる。また、全身的疾病の理解と対象年齢に応じた患者への接し方についても習得させる。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 10/10-4 限	臨床検査①	1. 臨床検査の倫理、安全性、必要性 2. 検査の種類、検査値の読み方など 3. 生体検査 （体温・脈拍・血圧） 4. 生理検査 （心電図・肺機能・血中酸素濃度・睡眠時無呼吸）	1. 臨床検査の倫理・安全性・必要性について理解する。	青木
	B 10/10-2 限			2. 臨床検査と歯科衛生士の役割を説明できる。 3. 検査の種類・成績の表し方・基準値とその変動要因を理解する。 4. 体温測定の意味を理解し、測定方法を説明できる。 5. 脈拍の意味を理解し、測定方法を説明できる。 6. 血圧測定の意味を理解し、測定方法を説明できる。 7. 心電図・肺機能・血中酸素濃度・睡眠時無呼吸検査を理解する。	青木
2	A 10/17-4 限	臨床検査②	1. 採血方法 2. 血液検査 3. 血液凝固・線溶系検査	1. 検体検査を説明できる。	青木
	B 10/17-2 限			2. 採血方法を説明できる。 3. 血液を使う検査の種類を列挙できる。 4. 貧血の検査を理解する。 5. 出血性素因の検査を理解する。	青木
3	A 10/24-4 限	臨床検査③	1. 感染症検査 2. 生化学検査 3. 免疫・血清学的検査	1. 微生物学的検査、炎症の検査を理解する	青木
	B 10/24-2 限			2. 感染症の検査項目、臨床的意義を理解する 3. 肝機能・腎機能・糖代謝の検査を理解する。 4. アレルギーの検査を理解する。 5. 自己免疫疾患の検査を理解する。	青木
4	A 10/31-4 限	臨床検査④	1. 血液型検査 2. 病理検査 3. 口腔領域の臨床検査	1. 血液型検査を理解する。	青木
	B 10/31-2 限			2. 病理検査を理解する。 3. 口腔領域の検査を説明できる。 4. 摂食嚥下関連の検査を説明できる。	青木
5	A 11/7-4 限	看護学①	1. 看護の概念 2. 医療従事者としての知識	1. 健康・看護の定義が理解できる。	荻上
	B 11/7-2 限			2. 基本的欲求、ADL・QOL が何か説明できる。 3. 医院と診療所の違いが説明できる。	荻上
6	A 11/14-4 限	看護学②	1. 医療安全とは	1. 医療安全について理解できる	荻上
	B 11/14-2 限			2. 臨床で起こりうる医療事故について理解できる 3. 臨床で起こりうるインシデントについて理解できる。	荻上
7	A 11/21-4 限	看護学③	1. 院内感染・院内感染防止とは	1. 院内感染について理解できる	荻上
	B 11/21-2 限			2. 院内感染防止対策について理解できる 3. 当院で行っている滅菌について理解できる	荻上

8	A 11/28-4 限	看護学④	1. 看護実務・技術	1.救急時の対処法について理解できる 2.基礎疾患のある患者の注意点が理解できる 3.バイタルサインとは何か、正常値及び測定方法が説明できる	高野		
	B 11/28-2 限				高野		
9	A 12/5-4 限	看護学⑤	1. 看護実務・技術	1. 食事・与薬について理解できる 2. 体位と褥瘡について理解できる 3. コミュニケーションとは何か理解できる	大澤		
	B 12/5-2 限				大澤		
10	A 1/9-4 限	高齢者介護実習①	1. 高齢者 2. 車椅子 3. 衣服の着脱 4. 義歯の着脱と清掃 5. 吸い飲み 6. 実習内容説明	1. 介護の三原則を説明できる。 2. 車椅子の構造を説明できる。 3. 車椅子の操作方法を説明できる。 4. 着患脱健を説明できる。 5. 義歯の清掃法を説明できる。 6. 吸い飲みの特徴を説明できる。 7. 実習内容を説明できる。	高山		
	B 1/9-2 限				高山		
11	A 1/16-4 限	高齢者介護実習②	実習 1. 車椅子の取り扱い 2. 衣服着脱 3. 義歯の清掃と取り扱い 4. 吸い飲みの取り扱い	1. 車椅子を安全に操作できる。 2. 車椅子の介助ができる。 3. 着患脱健を守り、衣服着脱の介助ができる。 4. 義歯清掃ができる。 5. 吸い飲みの取り扱いができる。 6. 改良コップの利点を説明できる。	高山		
	B 1/16-2 限				高山		
12	A 1/30-2 限	高齢者介護実習③					高山
	B 1/23-2 限						高山

科 目 名	担当教員				
臨地実習Ⅰ	松本歯科大学病院 歯科医師 保存科(保存修復・歯内療法) / 小松佐保、岩崎拓也、増田宜子、亀山敦史、森川雅己、河村裕太、佐々木惣平、牧田将和 保存科(歯周病) / 尾崎友輝 補綴科/平井博一郎、堀江貴裕、樋口大輔、笠原隼男、吉田裕哉、船岡俊介、植野裕司、柴田幸成 初診室/森 啓、大木絵美、高谷達夫、岩崎由紀子、伊能利之、根津英之、洪 鈺綺 口腔外科/佐藤工、上田敬介、植田章夫、渡邊遊理、谷山貴一、西田洋平、友松薫 矯正歯科/川原良美、中根隆、倉科勇太 小児歯科/正村正仁 地域連携歯科/杉田寛和 口腔健康管理科・口腔インプラントセンター/川原一郎、樋口大輔、植田章夫、笠原隼男 歯科衛生士 大目志織、岩間美樹、長瀬昭子、荒井泉、西澤恵美、藤原彩、宮尾琴音、柳沢みさき、上嶋博美 西窪結香、丸山美幸、板花明香里、阪西あい、小原愛美、石川桜子、永田美沙緒、白木果歩、 久保田香澄、今井美江、佐藤穂波、馬留みのり、矢ヶ崎亜美、上條愛子、三沢絵里子、小宮彩乃 坂井歩、岡村楓子、笠原由香、深澤さやか、間瀬紅瑠美、宮下春菜、古屋花桜里、桑原奈菜、汲田ちえ 丸山杏実				
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	10	450	実習	○
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科医師 小松佐保、岩崎拓也、増田宜子、亀山敦史、森川雅己、河村裕太、佐々木惣平、牧田将和、尾崎友輝 平井博一郎、堀江貴裕、樋口大輔、笠原隼男、吉田裕哉、船岡俊介、植野裕司、柴田幸成、森啓、 大木絵美、高谷達夫、岩崎由紀子、伊能利之、根津英之、洪 鈺綺、佐藤工、上田敬介、植田章夫 渡邊遊理、谷山貴一、西田洋平、友松薫、川原良美、中根隆、倉科勇太、正村正仁、杉田寛和、 川原一郎、 歯科衛生士 大目志織、岩間美樹、長瀬昭子、荒井泉、西澤恵美、藤原彩、宮尾琴音、柳沢みさき、上嶋博美 西窪結香、丸山美幸、板花明香里、阪西あい、小原愛美、石川桜子、永田美沙緒、白木果歩、 久保田香澄、今井美江、佐藤穂波、馬留みのり、矢ヶ崎亜美、上條愛子、三沢絵里子、小宮彩乃 坂井歩、岡村楓子、笠原由香、深澤さやか、間瀬紅瑠美、宮下春菜、古屋花桜里、桑原奈菜、汲田ちえ 丸山杏実				
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、卒業後、直ちに歯科臨床に携われるように、円滑な歯科診療を進めるための診療補助について習得させる。 歯科衛生士として病院での勤務経験のある教員が、卒業後、直ちに歯科臨床に携われるように、知識と手技の向上を図る指導を行い、患者とのコミュニケーション、対応法について習得させる。				

臨地実習の内容	保存科（保存修復・歯内療法）	
担当	歯科医師：小松佐保、岩崎拓也、増田宜子、亀山敦史、森川雅己、河村裕太、佐々木惣平、牧田将和 歯科衛生士：長瀬昭子	
授業の目的（GIO）	保存修復学ならびに歯内療法学について、講義で学んだ理論と基礎実習で習得した手技を基にして、臨床実習においては卒業後直ちに一般歯科臨床に携われるまでに、知識と手技を向上する。	
評価方法	1. 実習の進捗状況 2. 臨床ケースに対するレポート・口頭試問 3. 習得キーワードの習得 4. 実習に臨む態度、身だしなみ、出席状況	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標
診療のシステム	指導者より説明を受け、検印を受ける。	診療室の設備・運用、機器の配置についての知識を習得する。
各種器械類の理解	各種器械類の用途について説明を受け、さらに超音波発生装置、パルプテスターについてはレポートを提出し検印を受ける。	超音波発生装置、根管長測定器、パルプテスターについての使用目的、使用方法についての知識を習得する。
診療見学・補助	診療見学、補助を行い、治療の術式および内容に関するレポートを作成、提出。習得キーワード項目に検印を受け、満了する。満了できない場合は口頭試問にて補う。	器材準備、術式、処置の流れ、フォーハンドテクニックについての知識と手技を習得する。
歯科材料の取り扱い	各種歯科材料の用途についてレポート提出と口頭試問を行い、さらにセメント、印象材については説明を受けた上で、各自練習を行い指導者より評価を受ける。	歯科材料の使用目的と使用方法についての知識を習得し、取り扱いについての手技を向上させる。
相互実習	相互実習を行い指導者より評価を受ける。	歯科材料の取り扱い、パキュームテクニック、患者への対応を理解したうえで、相互実習を行いより高い手技を習得する。
<注意事項> 1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨むこと。 2. 習得キーワードを積極的に習得すること。		

臨地実習の内容	保存科（歯周病）	
担当	歯科医師:尾崎友輝 歯科衛生士:荒井泉	
授業の目的(GIO)	歯周療法学および歯科予防処置論の講義、実習で習得した知識、技能をもとに、各種歯周治療における介助、患者教育、手技を習得する。	
評価方法	実習に臨む姿勢、出席状況、臨床実習(見学、介助、実施)にて習得すべき全てのケースの終了、レポート提出、口頭試問によって評価する。	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標
歯周組織検査	各歯周組織検査項目の測定および、結果の説明 歯周組織検査の相互実習、患者実習	1. 歯周組織検査の必要性、使用器具の使用法を理解し、実施する。 2. 各歯周組織検査項目について測定し、理解し、その結果を適切に説明する。
口腔内写真撮影	口腔内写真撮影の介助、相互実習	1. 口腔内写真の必要性を理解し、説明をする。 2. 相互実習を通して、適切な介助、および撮影が行えるようにする。
プラークコントロール	O'Leary の PCR の測定の相互実習、患者実習 業務記録の作成 口腔清掃指導の見学、相互実習、患者実習	1. 歯周治療におけるプラークコントロールを理解し、実施する。 2. 業務記録を作成する。 3. 口腔清掃指導の必要性を理解し、適切な指導が行えるようにする。
歯肉縁上スケーリング	歯肉縁上スケーリングの見学、相互実習、患者実習	エアスケーラー、超音波スケーラー、手用スケーラー(鎌型スケーラー)を選択し、歯肉縁上歯石除去の基本手技を理解し、実施する。
スケーリング・ルートプレーニング	スケーリング・ルートプレーニングの見学、患者実習	適切なキュレットタイプスケーラーを選択し、スケーリング・ルートプレーニングの基本手技を理解し、実施する。
プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング(PMTC)	PMTC の見学、相互実習、患者実習	PMTC の必要性を理解し、目的に応じた道具の選択、および基本手技を実施する。
咬合調整・暫間固定	咬合調整・暫間固定の見学、介助	咬合調整・暫間固定の必要性を理解し、適切な介助が行えるようにする。
歯周外科治療	歯周外科治療の見学、介助	各種歯周外科治療を見学し、施行した歯周外科治療の目的、術式、種類を理解する。
再評価検査	再評価検査の見学、患者実習	再評価検査の必要性、内容を理解し、実施する。また、その結果を適切に説明する。
メンテナンス・サポーター・ペリオドンタルセラピー(SPT)	メンテナンス・SPT の見学、患者実習	メンテナンス・SPT の必要性、内容を理解し、実施する。
<注意事項> 1. 常に清潔を重んじた身だしなみに注意を払い、不適切と思われる髪型、化粧などはしてはならない。 2. 病院内では、私語を慎み、機敏な行動を心がけ、時間厳守とする。 3. 挨拶と返事は、はっきりとした声で行う。 4. 常に患者には気を配り、親切で丁寧な対応をする。 5. 分からないことは勝手に判断せずに、指導者に報告し、指示に従う。 6. 実習時は必ず実習帳を持参し、必要な資料を忘れてはならない。		

臨地実習の内容	補綴科	
担当	歯科医師: 平井博一郎、堀江貴裕、樋口大輔、笠原隼男、吉田裕哉、船岡俊介、植野裕司、柴田幸成 歯科衛生士: 藤原彩	
授業の目的 (GIO)	・講義で学んだことと臨床とを関連づけ、補綴治療への理解を深める。また、高齢者の口腔健康管理と患者への対応法を身につける。 ・新患・再来新患への医療面接、口腔内診査の介助を行うことにより、歯、歯周、顎口腔領域の疾患に対する知識の習得と、患者対応を学ぶ。	
評価方法	習得すべき全てのケース(見学・介助・実施)の終了、レポート提出、口頭試問にて理解度を評価する。実習に臨む態度、積極性も評価の対象とする。	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標
全部床義歯、部分床義歯、Cr・Br の製作過程	講義内容を参考にレポート提出、口頭試問を行う。	1. 全部床・部分床義歯、Cr・Br の製作過程が説明できる。 2. 補綴装置の種類、特徴および適応を説明できる。
印象材、セメントの取り扱い	実技実習、説明を行いレポート提出、口頭試問を行う。	それぞれの印象材、セメントの特徴を理解し、適切に扱うことができる。
高齢者への接し方	講義内容を参考にレポート提出	高齢者の身体的特徴や社会的立場を把握し、適切な対応ができる。
義歯の取り扱い 補綴患者への刷掃指導	口頭試問、実技実習を行う。	補綴治療後の術後管理の目的と方法を説明できる。
診療見学・介助	ケース項目の見学・介助を行う。	各処置の目的、術式と使用器具・器材を理解し、円滑な介助ができる。
テンポラリークラウン作製	担当 Dr の指導の下、模型にてテンポラリークラウンを作製する。	指導手順によりテンポラリークラウンを作製することができる。
余剰セメントの除去	Cr・Br の仮着後、余剰セメントの除去を行う。	適切な器具を使い、短時間で除去することができる。
義歯着脱・義歯清掃	義歯着脱、義歯の清掃を行う。	正しい義歯着脱法、義歯清掃法を身につける。
<注意事項> 1. 身だしなみは清潔にし、患者、スタッフに対しての挨拶等礼儀を大切にすること。 2. 診療の見学、介助に入る際には必ず術者に一言断ること。 3. 診療室では私語を慎むこと。 4. 実習中に診療室外へ出るときはチーフ歯科衛生士に許可を得て、戻ったときには報告すること。 5. 見学ケース、介助ケースはいずれも期日内にレポートを提出し、口頭試問を受けること。 6. ケースの数にとらわれることなく、積極的に実習を行うこと。		

臨地実習の内容		初診室	
担当		歯科医師:森 啓、大木絵美、高谷達夫、岩崎由紀子、伊能利之、根津英之、洪 鈺綺 歯科衛生士:上嶋博美	
授業の目的(GIO)		新患・再来新患への医療面接、口腔内診査の介助を行うことにより、歯、歯周、顎口腔領域の疾患に対する知識の習得と、患者対応を理解できる。	
評価方法		習得すべき全てのケース(見学・介助・実施)の終了、レポート提出、口頭試問にて理解度を評価する。実習に臨む態度、積極性も評価の対象とする。	
項 目		実 習 内 容	行 動 目 標
初診 対応	受付補助	健康調査票の説明と受け渡し 血圧測定器の説明と測定補助	1. 健康調査票の内容を理解し患者に分かり易く説明する。 2. 血圧と全身疾患のかかわりを理解できる。
	器具取扱い	器具の準備・片づけ	清潔・不潔を理解し正しく準備と片づけを行う。
	患者誘導	チェアーに患者を誘導する。	適切な対応でスムーズな誘導を行う。
<注意事項> 1. 身だしなみは清潔にし、患者、スタッフに対しての挨拶等礼儀を大切にすること。 2. 診療の見学、介助に入る際には必ず術者に一言断ること。 3. 診療室では私語を慎むこと。 4. 実習中に診療室外へ出るときはチーフ歯科衛生士に許可を得て、戻ったときには報告すること。 5. 見学ケース、介助ケースはいずれも期日内にレポートを提出し、口頭試問を受けること。 6. ケースの数にとらわれることなく、積極的に実習を行うこと。 7. 初診室には、様々な患者が来院するため、速やか患者対応できるよう、歯科衛生士、担当医の指示に従い迅速に対応、行動すること。			

臨地実習の内容		口腔外科	
担当		歯科医師:佐藤工、上田敬介、植田章夫、渡邊遊理、谷山貴一、西田洋平、友松薫 歯科衛生士:柳沢みさき	
授業の目的(GIO)		口腔外科・歯科麻酔学の講義をもとに、外科手術の際に必要な知識について理解を深め、適切な介助技術を習得する。	
評価方法		口頭試問: ①臨床ケース ②主要外科処置・使用器材 (普通拔牙術、小手術:埋伏拔牙術、歯槽骨整形術、歯根端切除術、膿瘍切開排膿術、 嚢胞摘出術、軟組織切除 など) レポート: ①外科器材 ②小手術 ③救急処置	
項 目		実 習 内 容	行 動 目 標
清潔・不潔の概念		清潔域・不潔域 手指消毒法	1. 清潔域と不潔域を理解できる。 2. 適切な手指消毒ができる。
主要外科処置 ・普通拔牙術 ・小手術 埋伏拔牙術 歯槽骨整形術 歯根端切除術 膿瘍切開排膿術 嚢胞摘出術 軟組織切除 など		各処置の器材準備と介助および見学	処置の目的、適応症・禁忌症、術式を理解し適切な介助ができる。
救急処置		血圧・脈拍測定法 心肺蘇生法 AED 使用法	1. バイタルサインの確認ができる。 2. 一次救命処置ができる。
精神鎮静法		精神鎮静下の外科的処置の介助	1. 精神鎮静法の適応が理解できる。 2. 鎮静下での外科的処置の介助ができる。
手術見学		全身麻酔下手術見学	1. 手術室での看護師の役割を理解できる。 2. 全身麻酔の適応と手術法が理解できる。
<注意事項> ・身だしなみや行動、言動に注意を払い実習に取り組む。 ・患者のプライバシー保護に十分注意する。 ・患者への配慮を忘れず、丁寧な対応を心掛ける。 ・清潔・不潔を理解し、感染防止に十分に努める。			

臨地実習の内容	矯正歯科	
担当	歯科医師: 川原良美、中根隆、倉科勇太 歯科衛生士: 岩間美樹	
授業の目的(GIO)	歯科矯正学の講義にて習得した知識をもとに実習を行い、不正咬合に対する治療の必要性、矯正歯科患者における保健指導、各種矯正装置や器材・器具について総合的に理解する。	
評価方法	各種実習項目について習得すべき全てのケースの終了、レポート提出、口頭試問により、知識・技能・実習態度を総合的に評価する。	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標
介助実習	セメント練和・盛り付け アルジネート練和 ダイレクトボンディング法 器材の受け渡し	1. 目的に応じた適切な稠度で練和できる。 2. 治療の流れや手順を理解し、適切且つ迅速な介助ができる。
保健指導	口腔衛生指導(TBI) 口腔機能療法(MFT)	矯正歯科患者に対する口腔衛生指導について理解し、実施することができる。
器材・器具	口頭試問	矯正歯科治療に使用する器具・器材の名称と用途を理解し説明できる。
各種矯正装置	ケース取得後の記録および口頭試問	各種矯正装置について、名称・用途・使用方法等を理解し説明することができる。
相互実習	口腔内写真撮影	口腔内写真撮影の介助の実施ができる。
習熟度評価	口頭試問習熟度評価	矯正歯科治療について総合的に理解し説明することができる。
<注意事項> 1. 病院内においては、私語や大きな声を慎み、術者や介助者の妨げとならないように機敏な行動を心掛ける。 2. 常に気配りを心掛け患者に対応する。 3. 器具・器材には精密で高価なものが多いため、無駄な使用や勝手な破棄は控える。		

臨地実習の内容	小児歯科	
担当	歯科医師: 正村正仁 歯科衛生士: 宮尾琴音	
授業の目的(GIO)	小児歯科臨床実習は、今までに習得した知識を基に、診療補助として必要な小児の成長発育を考慮した予防指導や予防処置、治療ならびに口腔健康管理についての技術を習得する。 また、患児や保護者とのコミュニケーション、患児の対応法について知識、技術、態度を習得する。	
評価方法	臨床講義、見学、相互実習、アシスタントケース、実施ケース、口頭試問および試験ケースにより、知識・技能・態度を総合的に評価する。	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標
1. 臨床講義 ※臨地実習 オリエンテーション	1. 小児の対応法 2. フォーハンドデンティストリー 3. 咬合誘導 4. 予防処置 5. 刷掃指導 6. 食事指導	1. インフォームドコンセント、一般的な対応法、行動変容による対応法、特殊な対応法を理解する。 2. フォーハンドデンティストリーの目的と方法を理解する。 3. 咬合誘導の目的、装置の種類、適応を理解する。 4. フッ化物塗布法と予防填塞法の目的、術式、術後指導を理解する。 5. 乳歯う蝕の原因、特徴および予防法を理解する。 6. 小児の歯肉炎の種類と特徴を理解する。 7. 食生活とう蝕の関連、間食の意義を理解する。
2. 臨床見学	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復(光重合) 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布	1. 診査の項目、方法、記録について理解する。 2. 小児の対応法(主に声掛け)を理解する。 3. 治療内容を把握する。 4. 治療の術式や使用器材を理解する。 5. フォーハンドテクニックを理解する。 6. 器材準備および片付け方法を理解する。 7. 術後指導の内容および方法を理解する。 8. 患児や保護者とのコミュニケーションの必要性、方法を理解する。 9. 指導の流れを把握する。

3. 介助ケース	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復(光重合) 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科的処置	1. 口腔内診査結果の記録を行う。 2. TSD法に準じた声掛けを行う。 3. 器材準備、点検、片付けを行う。 4. カートリッジ注射器の取り扱いを理解する。 5. フォーハンドデンティストリーによる介助を実施する。 6. 治療の流れに沿った器具の受け渡しを行う。
4. 実施ケース	1. 定期健診 2. 刷掃指導 3. 食事指導 4. フッ化物塗布	1. 診査項目に従って口腔内診査を行う。 2. 清掃状態と歯肉の健康状態を観察し把握する。 3. 咬合状態の観察をする。 4. 小児、保護者に対するブラッシング指導を実施する。 5. 適切な清掃用具の選択および指導を実施する。 6. 幼若永久歯(第一大臼歯を中心)のブラークコントロールの方法を指導する。 7. フッ化物の取り扱いを理解し、指示に従って塗布を行う。 8. 注意事項の説明をする。 9. 歯科保健指導記録を記載する。
5. 試験ケース	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復(光重合) 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布	1. 乳歯と永久歯の違いを理解する。 2. TSD法に準じ、術者と協調した声掛けを行う。 3. 安全の確保を行う。 4. 適切に器材準備、点検、片付けを行う。 5. 適切かつ安全にカートリッジ注射器の取り扱いをする。 6. 適切なフォーハンドデンティストリーによる介助を実施する。 7. 治療の流れに沿った適切な器具の受け渡しをする。 8. 指示に従った指導を実施する。 9. 適切に指導記録を記載する。 10. 適切な歯面清掃を実施する。 11. 指示に従い適切なフッ化物の取り扱いの下に塗布する。 12. 適切な術後指導を行う。
6. 相互実習	1. フッ化物塗布 2. 予防填塞	1. 術者磨きを実施し、仕上げ磨きの指導に生かす。 2. ラバーダム防湿を実施する。 3. 術式および処置の流れを確認しながら実施する。
7. 口頭試問	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復(光重合) 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布 11. 予防填塞	[診療補助] 1. レポート課題に関する口頭試問を受け、合格する。 [保健指導・予防処置] 1. 登院前に課題を記入する。 2. 登院後口頭試問を受け、合格したら実施ケースおよび試験ケースを行う。
<注意事項> 1. 身だしなみを整えること。 2. 患者様への接遇(態度、言葉遣い)に気を配ること。 3. 病院内での私語は慎むこと。 4. 病院スタッフには敬意を払って接すること。		

臨地実習の内容	地域連携歯科	
担当	歯科医師: 杉田寛和 歯科衛生士: 西澤恵美	
授業の目的 (GIO)	スペシャルニーズのある患者の歯科診療に参加することにより、基本的知識および臨床技能を習得し、各障害に対する対応や口腔保健指導の知識を修得する。	
評価方法	1. 主要な障害について所定の症例数を見学、診療補助後、ケース表を提出し口頭試問を受ける。 2. 歯科診療に参加し診療の器材準備及び術式に沿った診療補助が出来ているか評価する。	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標
スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度	適切なコミュニケーション、スペシャルニーズのある患者への配慮、トランスファー、医療人としての倫理的態度	スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度を習得する。
行動調整の実際	行動変容技法 (診療補助) 笑気吸入鎮静法 (診療補助) 静脈内鎮静法 (見学) 全身麻酔科集中歯科治療 (見学) 身体抑制法 (診療補助)	歯科診療に参加し、どのような行動調整法がなされているのか理解する。
障害についての理解	知的障害 (診療補助) ダウン症候群 (診療補助) 自閉スペクトラム症 (診療補助) 脳性麻痺 (診療補助) 精神・神経疾患 (診療補助) 循環器疾患 (診療補助)	歯科診療に参加し、各障害の特性と対応、口腔内の特徴を理解する。
口腔保健指導	ブラッシング指導 (実施)	スペシャルニーズのある患者の口腔保健管理上の問題点を把握し、患者に適した口腔保健指導を患者あるいは保護者・介助者に実施する。
感染症患者の実際	HBV、HCV、HIV 患者などの歯科的配慮点 (見学)	各感染症を理解し、感染防止対策の方法、消毒・滅菌について理解する。
摂食・嚥下	診査、検査、評価、訓練など一連の流れ (見学)	摂食・嚥下リハビリテーションの臨床を学ぶ。
<注意事項> ・患者のプライバシー保護には十分注意する。 ・臨床実習生の立場をわきまえ、身だしなみ、言動、行動などに気をつける。		

臨地実習の内容	口腔健康管理科 / 口腔インプラントセンター（特別専門外来）	
担当	歯科医師：川原一郎、樋口大輔、植田章夫、笠原隼男 歯科衛生士：大目志織、西窪結香、丸山美幸、板花明香里	
授業の目的(GIO)	健康増進に寄与する口腔衛生管理において、患者一人一人に合わせた口腔ケアの実践や患者教育についての、知識、技能、態度を習得する。 口腔インプラント療法において、講義や基礎実習で身につけた知識・技術を臨床に結び付け、診療の術式に適した対応と、実践能力を身に付けるための知識、技術、態度を習得する。	
成績評価	出席状況（実習時間）、実習態度（準備、行動）および提出された実習記録の内容（理解度の解析）を測定し、その結果から総合的な評価を行う。	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標（SBOs）
口腔衛生管理に関する処置	処置の見学	1. メインテナンスにおける歯科衛生士の役割が理解できる。 2. 処置の流れやメインテナンス時の観察事項が理解できる。 3. 口腔内の状態、患者背景に応じた患者教育の内容が理解できる。 4. 患者に対する適切な態度、正しい言葉遣いを身に付ける。
インプラントの基礎知識	1. 治療の流れの把握 2. インプラント初診、各種検査の見学	1. インプラントと天然歯の違いが理解できる。 2. 治療の流れや治療計画について理解できる。 3. インプラント治療に必要な検査の内容が理解できる。
インプラント外科手術	1. 次手術 2. 次手術、関連手術の見学	1. 適切な手指消毒ができる。 2. 清潔・不潔の概念を理解し、滅菌器具を適切に取り扱える。 3. 手術の術式が理解できる。
インプラント補綴	1. 印象採得の見学 2. プロビジョナルレストレーション、最終補綴物装着の見学	1. インプラント上部構造の種類、固定法が理解できる。 2. インプラント補綴処置に関する合併症が理解できる。
インプラントのメインテナンス	処置の見学	1. インプラント周囲炎について理解ができる。 2. メインテナンス時の観察事項が理解できる。 3. メインテナンスにおける歯科衛生士の役割が理解できる。
実習記録の作成	見学した診療の記録作成	1. 患者情報の取り扱いが正しくできる。 2. 術式や処置内容について正しく記載できる。 3. 重要と思われる点や気づいた点についての的確に記載できる。
<注意事項> 身だしなみを整え、患者に対する接遇（態度、礼儀）に気を配ること スタッフや患者導線に邪魔にならない位置で待機、見学すること		

臨地実習の内容	重度心身障害者巡回臨地実習	
担当	歯科医師:松本歯科大学病院 地域連携歯科 歯科衛生士:松本歯科大学病院 地域連携歯科 衛生学院教員	
授業の目的(GIO)	障害者歯科学の講義を基に、障害者への対応を学び、障害を考慮した歯科検診の介助と口腔清掃指導法を習得する。	
成績評価	実習記録の提出状況およびその内容、出席状況と実習態度から総合的に評価する。	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標
1. オリエンテーション	実習の目的 実習内容 チャートの記入方法注意事項	1. 実習の目的・内容を述べることができる。 2. 口腔内診査用紙の項目について理解し、記録できる。 3. 実習の注意事項を述べることができる。
2. 実習の流れ	診査の準備 口腔内診査時のチャーターティング 応急処置時の器材準備・介助 ブラッシング指導 ブラッシングプログラム記入 後片付け 施設見学 反省会	1. 実習の目標を立てることができる。 2. 歯科検診に必要な器具・器材を準備できる。 3. 清潔・不潔に留意して検診の介助ができる。 4. 障害に応じた対応ができる。 5. 口腔内診査結果を正しく記入できる。 6. 応急処置時の介助ができる。 7. 障害者の口腔内状態・ブラッシング状況を把握することができる。 8. 障害を考慮した指導法を選択することができる。 9. ブラッシングプログラムを正しく記入できる。 10. 口腔ケアにおいて、施設職員と連携する重要性が理解できる。 11. 実習の内容を振り返り、課題を挙げることができる。

臨地実習の内容	1 歳 6 か月児健康診査実習	
担当専任教員	竹岡亜紀	
授業の目的(GIO)	1 歳 6 か月児健康診査の意義を理解し、関連職種の連携および対象児・保護者への対応を学ぶ。	
成績評価	事前レポート・実習記録の提出状況およびその内容、出席状況、実習態度から総合的に評価する。	
実習施設	塩尻市保健福祉センター	
項 目	実 習 内 容	行 動 目 標
1. 実習の流れ	実習準備 健診見学 実習記録作成 カンファレンス	1. 実習の目標を立てることができる。 2. 健診手順を説明できる。 3. 保健師および歯科衛生士による集団指導の主旨を把握できる。 4. 集団指導での媒体の活用法を説明できる。
2. 健診の流れ	受 付 お 話 :保健師・歯科衛生士 問診・発達チェック 歯科診察 計 測 内科診察 相 談 終 了	5. 保健師および歯科衛生士の受診児と保護者への対応について述べる ことができる。 6. 歯科健診の記録方法を説明できる。 7. 一巡したあとの見学方法を定めることができる。 8. 受診児の年齢に応じた対応ができる。 9. 保護者への配慮ができる。 10. 疑問点等を質問できる。 11. 実習内容を振り返り課題を挙げる ことができる。
<注意事項> 1. 保護者に了解をとり、受診児とその保護者に同行し健診の流れを体験する。 2. 快く承諾して下さった保護者の方に失礼のないように接する。 3. 疑問点等については、健診終了後のカンファレンスの際に遠慮なく尋ねること。 4. 実習には、目的を持って臨むこと。		

科 目 名			担当教員		
医療事務（歯科）			野澤百合子		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	後期	4	70	講義	—
授業の目的(GIO)		歯科医療事務職として必要な医療保険の仕組みを理解し、歯科治療における保険請求事務知識を習得することを目的とする。			
教科書		医療事務講座歯科 医療保険制度のしくみ、医療現場での接遇マナー、診療報酬の算定ルール、レセプト点検、スタディブック、サブテキスト（株式会社ニチイ学館）			
成績評価		レポート提出、修了試験、出席状況			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた 授業の内容		—			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 10/10-1 限	医療保険制度 1	1. 医療保険制度の基礎知識 2. 保険診療のしくみ 3. 医療保険の種類 4. 被保険者証の見方	1. 医療事務の仕事について理解する。 2. 医療保険と保険診療のしくみについて理解する。 3. 医療保険の種類と特徴を理解する。 4. 被保険者証の見方を理解する。	野澤
	B 10/10-3 限				野澤
2	A 10/10-2 限				野澤
	B 10/10-4 限				野澤
3	A 10/17-1 限	医療保険制度 2	1. 受付事務の基礎知識 2. その他の保険制度	1. カルテの上書きと窓口徴収について理解する。 2. 後期高齢者・公費負担・介護保険制度について理解する。	野澤
	B 10/17-3 限				野澤
4	A 10/17-2 限	患者接遇 1	1. 患者接遇の基本マナー	1. 医事担当者としての応対・言葉遣いの基本を身につける。 2. 好感をもたれる態度と電話応対の基本を身につける。	野澤
	B 10/17-4 限				野澤
5	A 10/24-1 限	患者接遇 2	1. 患者受付の実際 2. 医療人として守るべきこと 3. 職場のコミュニケーション	1. 窓口応対と受付事例のロールプレイングを行い実践的技術を身につける。 2. 守秘義務と個人情報保護法について理解する。 3. クレーム対応方法と職場のコミュニケーションについて理解する。	野澤
	B 10/24-3 限				野澤
6	A 10/24-2 限				野澤
	B 10/24-4 限				野澤
7	A 10/31-1 限	歯科の基礎知識	1. 歯科の基礎知識	1. 医療保険請求に関わる歯牙の解剖と歯牙の表示のしかたを理解する。	野澤
	B 10/31-3 限				野澤
8	A 10/31-2 限	歯科点数表とその解釈 1（基本診療料）	1. 初診料・再診料	1. 初診料・再診料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
	B 10/31-4 限				野澤
9	A 11/7-1 限	歯科点数表とその解釈 2（特掲診療料）	1. 医学管理等 2. 在宅医療 3. 投薬料	1. 医学管理等の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 在宅医療の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 3. 投薬料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
	B 11/7-3 限				野澤
10	A 11/7-2 限				野澤
	B 11/7-4 限				野澤
11	A 11/14-1 限	歯科点数表とその解釈 3（特掲診療料）	1. 画像診断 2. 麻酔料 3. 検査料	1. 画像診断料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 麻酔料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 3. 検査料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
	B 11/14-3 限				野澤
12	A 11/14-2 限				野澤
	B 11/14-4 限				野澤
13	A 11/21-1 限	歯科点数表とその解釈 4（特掲診療料）	1. 歯冠修復・歯冠形成 1	1. 歯冠修復の算定方法と歯冠形成の種類を理解する。 2. 歯冠修復と歯冠形成の関連を修復物の種類ごとに理解する。	野澤
	B 11/21-3 限				野澤
14	A 11/21-2 限				野澤
	B 11/21-4 限				野澤

15	A 11/27-1 限	歯科点数表とその解釈 5(特掲診療料)	1. 歯冠修復・歯冠形成 2	1. 歯冠修復と歯冠形成の関連を修復物の種類ごとに理解する。	野澤
	B 11/27-2 限				野澤
16	A 11/28-1 限	歯科点数表とその解釈 6(特掲診療料)	1. 歯冠修復・歯冠形成 3	1. 歯冠修復と歯冠形成の明細書の記載要領について理解する。	野澤
	B 11/28-3 限				野澤
17	A 11/28-2 限	症例による点数算定と規則 1	1. 初期う蝕症 1	1. 初期う蝕症の治療の流れと点数算定を理解する。	野澤
	B 11/28-4 限				野澤
18	A 12/4-1 限	症例による点数算定と規則 2	1. 初期う蝕症 2	1. 初期う蝕症の点検のポイントを理解する。	野澤
	B 12/4-2 限				野澤
19	A 12/5-1 限	症例による点数算定と規則 3	1. 歯髄炎	1. 歯髄炎の治療の流れと点数算定を理解する。 2. 歯髄炎の点検ポイントを理解する。	野澤
	B 12/5-3 限				野澤
20	A 12/5-2 限				野澤
	B 12/5-4 限				野澤
21	A 12/11-1 限	症例による点数算定と規則 4	1. 感染根管 1	1. 感染根管の治療の流れと点数算定を理解する。	野澤
	B 12/11-2 限				野澤
22	A 12/12-1 限	症例による点数算定と規則 5	1. 感染根管 2 2. その他の疾患 3. 歯周疾患 1	1. 感染根管の点検ポイントを理解する。 2. その他の疾患の治療の流れと点数算定を理解する。 3. その他の疾患の点検ポイントを理解する。 4. 歯周疾患の治療の流れと点数算定を理解する。	野澤
	B 12/12-3 限				野澤
23	A 12/12-2 限				野澤
	B 12/12-4 限				野澤
24	A 12/18-1 限	症例による点数算定と規則 6	1. 歯周疾患 2 2. 口腔粘膜等の疾患	1. 歯周疾患の点検ポイントを理解する。 2. 口腔粘膜等の疾患の治療の流れと点数算定を理解する。 3. 口腔粘膜等の疾患の点検ポイントを理解する。	野澤
	B 12/18-2 限				野澤
25	A 12/19-1 限	症例による点数算定と規則 7	1. 欠損補綴(ブリッジ)	1. ブリッジの作成手順と点数算定を理解する。 2. ブリッジの点検ポイントを理解する。	野澤
	B 12/19-3 限				野澤
26	A 12/19-2 限				野澤
	B 12/19-4 限				野澤
27	A 1/8-1 限	症例による点数算定と規則 8	1. 欠損補綴(有床義歯) 1	1. 有床義歯の作成手順と点数算定を理解する。	野澤
	B 1/8-2 限				野澤
28	A 1/9-1 限	症例による点数算定と規則 9	1. 欠損補綴(有床義歯) 2 2. 欠損補綴(床適合と修理) 3. 再装着と修理 4. 未装着請求 5. 医事システム	1. 有床義歯の点検ポイントを理解する。 2. 有床義歯の床適合と修理の点数算定と点検ポイントを理解する。 3. 歯冠修復物・ブリッジの再装着・修理の点数算定と点検ポイントを理解する。 4. 未装着請求の点数算定と請求方法を理解する。 5. 医事システムにおける保険請求について理解する。	野澤
	B 1/9-3 限				野澤
29	A 1/9-2 限				野澤
	B 1/9-4 限				野澤
30	A 1/15-1 限	カルテ例による明細書点検 1	1. レセプト点検 1	1. レセプトの点検練習により実務に即した技能を身につける。	野澤
	B 1/15-2 限				野澤
31	A 1/16-1 限	カルテ例による明細書点検 2	1. レセプト点検 2	1. レセプトの点検練習により実務に即した技能を身につける。	野澤
	B 1/16-3 限				野澤
32	A 1/16-2 限				野澤
	B 1/16-4 限				野澤
33	A 1/22-1 限	カルテ例による明細書点検 3	1. レセプト点検 3	1. レセプトの点検練習により実務に即した技能を身につける。	野澤
	B 1/22-2 限				野澤
34	A 1/23-1 限	カルテ例による明細書点検 4	1. レセプト点検 4	1. レセプトの点検練習により実務に即した技能を身につける。	野澤
	B 1/23-3 限				野澤
35	A 1/23-2 限				野澤
	B 1/23-4 限				野澤

※医療事務セミナー(技能審査試験対策)は次年度実施する。

科 目 名			担当教員		
歯科英語			川原一郎		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員 による授業科目
2	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		英語学習を通じて、物事の考え方、感じ方、表現の多様性を認識(知識)し、医療従事者として国際感覚のあるコミュニケーションの技術、態度を育成する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科英語』(医歯薬出版)			
成績評価		講義の出席状況、授業参加の積極度およびポストテストの成績により総合的に評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師:川原一郎			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、臨床業務における英語活用状況を踏まえて講義する。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 4/18-2 限	ガイダンス	医療現場の英語	医療現場での英語の必要性を理解できる。	川原
	B 4/17-2 限				川原
2	A 4/25-2 限	医療英語の基礎 1	人体、口腔の部位の名称	人体、口腔の解剖学用語を英語で理解できる。	川原
	B 4/24-2 限				川原
3	A 5/9-2 限	医療英語の基礎 2	英語と日本語の世界観のちがい	英語を母国語とする人の世界の見方を理解できる。	川原
	B 5/8-2 限				川原
4	A 5/16-2 限	歯科臨床の英会話①	Making an Appointment by Telephone	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 5/15-2 限				川原
5	A 5/23-2 限	歯科臨床の英会話②	Requests for Medicine	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 5/22-2 限				川原
6	A 5/30-2 限	歯科臨床の英会話③	Emergency Appointments	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 5/29-3 限				川原
7	A 6/6-2 限	歯科臨床の英会話④	Asking the Patient to Describe Symptoms	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 6/5-2 限				川原
8	A 6/11-2 限	歯科臨床の英会話⑤	Pregnancy	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 6/11-3 限				川原
9	A 6/13-2 限	歯科臨床トピック 1	英文医学雑誌からの論文紹介	英文での医療情報を取得できる	川原
	B 6/12-2 限				川原
10	A 6/20-2 限	歯科臨床の英会話⑥	Informed Consent	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 6/19-2 限				川原
11	A 6/25-2 限	歯科臨床の英会話⑦	Sealants	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 6/25-3 限				川原
12	A 6/27-2 限	歯科臨床の英会話⑧	Fluoride Treatment	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 6/26-2 限				川原

13	A 7/2-2 限	歯科臨床の英会話⑨	Tooth Brushing Instructions for a Child	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 7/2-3 限				川原
14	A 7/4-2 限	歯科臨床の英会話⑩	Tooth Brushing Instructions for an Adult	医療現場での英語活用の例文を理解できる。	川原
	B 7/3-2 限				川原
15	A 7/11-2 限	歯科臨床トピック 2	英文医学雑誌からの論文紹介	英文での医療情報を取得できる	川原
	B 7/10-2 限				川原

科 目 名			担当教員		
医療中国語			楊 静		
学 年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	2	30	講義	—
授業の目的(GIO)		歯科衛生士として、グローバル化する歯科医療分野に対応するため、中国語のコミュニケーション力を養い、中国文化と言葉を学ぶ			
教科書		特に指定ない			
成績評価		定期試験、授業態度、授業での演習、出欠席、レポートなどを総合的に評価する			
実務経験のある教員及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた授業の内容		—			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	A 10/16-2 限	ガイダンス	授業の目的・内容・進め方・評価について説明	医療中国語の学習方法を理解する	楊
	B 10/16-1 限				楊
2	A 10/23-2 限	中国文化と歴史	中国の歴史、文化、習慣	中国の歴史、文化、習慣や伝統を理解する	楊
	B 10/23-1 限				楊
3	A 10/30-2 限	中国の伝統行事や社会的習慣	主要な祭りの紹介、伝統的な食べ物等	中国の歴史、文化、習慣や伝統を理解する	楊
	B 10/30-1 限				楊
4	A 11/6-2 限	中国語の基礎	中国語の発音特徴と表記、基本の語順	簡単な挨拶や自己紹介できるように	楊
	B 11/6-1 限				楊
5	A 11/13-2 限	中国語の文法	基本的な文法ルール、語順、文の種類	簡単な挨拶や自己紹介できるように	楊
	B 11/13-1 限				楊
6	A 11/20-2 限	実践会話	日常生活や社会的交流、コミュニケーションにおける文化的な違い	簡単な日常会話できるように	楊
	B 11/20-1 限				楊
7	A 11/27-2 限	前半まとめ	復習：基本的な挨拶フレーズなど	重要な表現や会話表現を復習し、理解を深める	楊
	B 11/27-1 限				楊
8	A 12/4-2 限	中国の歯科医療	中国の歯科医療制度、最新技術とトレンド、衛生士の役割	中国の歯科医療文化の理解を深める	楊
	B 12/4-1 限				楊
9	A 12/11-2 限	歯科用語の基礎1	歯科基本用語や、歯や口腔内の基本的な名称	歯科診療における中国語の基本表現を理解する	楊
	B 12/11-1 限				楊
10	A 12/18-2 限	歯科用語の基礎2	歯科診療の説明に必要な語彙やフレーズ	診療の説明に必要な語彙を使いこなせるようにする	楊
	B 12/18-1 限				楊
11	A 1/8-2 限	患者とのコミュニケーションスキル(1)	問診と初診対応	歯科診療の場面に応じたコミュニケーション力を養う	楊
	B 1/8-1 限				楊
12	A 1/15-2 限	患者とのコミュニケーションスキル(2)	歯磨き方法・口腔衛生指導	歯科診療の場面に応じたコミュニケーション力を養う	楊
	B 1/15-1 限				楊
13	A 1/22-2 限	患者とのコミュニケーションスキル(3)	予約や次回の案内	歯科診療の場面に応じたコミュニケーション力を養う	楊
	B 1/22-1 限				楊
14	A 2/5-2 限	患者とのコミュニケーションスキル(4)	緊急時に使う必要な語彙とフレーズ	歯科診療の場面に応じたコミュニケーション力を養う	楊
	B 2/5-1 限				楊
15	A 2/12-2 限	プレゼンテーション	実際の診療場面を想定したロールプレイ	歯科衛生士として中国語のコミュニケーションスキルを実践する	楊
	B 2/12-1 限				楊

